

幼保小の架け橋プログラム調査研究事業

令和 5 年度 中間成果報告



秋田県大館市



おおだて 大館市



人口と教育・保育施設数 (令和5年7月1日現在)



人 口 65,937人

| | | | |
|----------|---|----------|---|
| 私立幼稚園 | 1 | 私立認定こども園 | 8 |
| 公立保育所 | 5 | 指定管理保育所 | 4 |
| 私立保育所 | 1 | へき地保育所 | 6 |
| 地域型保育施設 | 2 | | |
| 事業所内保育施設 | 5 | | |



市立小学校 17校

1 大館市の教育について

(1)市の教育理念・施策 (H23~)

「大館ふるさとキャリア教育」を根幹とした人財育成、教育による地方創成

 0歳から22歳までの育ちをつなぐ

 就学前教育・幼保小連携の充実
→保育アドバイザー（子ども課）、幼保小連携アドバイザー（教委）の配置

校種や立場を越えて、共に子どもを語る、共に学び合うことで、
「未来大館市民」を育成するという目的を共有



(2) これまでも続いてきた各小学校区での幼保小交流活動

行事で交流



カルタ大会

小学校の
生活を体験



給食

学芸会予行の参観



お掃除



ランドセル



(3) 市内全体の教職員研修会(例年開催)

◆幼保小連携推進会議

R5年5月17日(水)

幼保主任・小学校教頭 51名参加



◆幼保小担任合同研修会

R5年6月1日(木)

5歳児・小1担任・管理職ほか250名参加



幼保小連携の顔合わせ、架け橋プログラムについての説明・講演
全体研修会後は、小学校区ごとに具体的な交流計画、共通する課題を協議

(4) 幼保小の架け橋プログラム実施の必要性



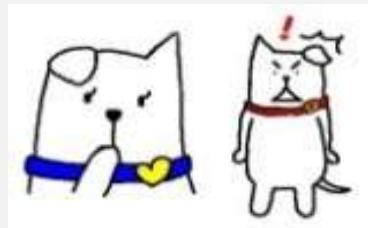
子ども・職員同士の交流

スタートカリキュラム

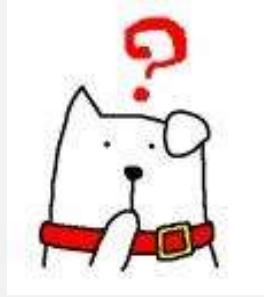


これまで連携して
きたのに、あと
何をするの？

今までと
何が違うの？



アプローチカリキュラ
ムやスタートカリキュ
ラムでは、ダメなの？



(5) 幼保小の架け橋プログラムの必要性



カリキュラムの接続

5歳児・1年生の育ちに伸びしろ
学び（経験内容）にばらつき

- 本市が目指す子どもの姿に向けて、
共通するカリキュラムで保障すべき保育・教育、育ちの姿を可視化
- カリキュラム開発の協議を通して、**主体的で具体的な教育・保育の改善**
- 多様な育ちに対応して、**一人一人の発達を見取って促す**

この時期にふさわしい援助・指導が積み重ねられ、市内のどの園・小学校にいても発達に必要な経験（生活、保育・授業）が保障されるためには、共通したカリキュラムが必要

2 本市における架け橋プログラムの進め方



I
共通理解

事業の概要、本事業の必要性、
本市教育における方針・位置付け

- 幼保小の教職員合同研修会
- 研修用DVD
- 各校・園・団体での講話・説明

II
ひな型提示
情報共有

市共通版架け橋カリキュラム
モデル地区版カリキュラム
事例・展開例の提示

- 研修会での説明
- 冊子「カリキュラム作成研修資料」全員配付
- 幼保小連携便り「つなぐ」

III
周知・拡大

全小学校区 作成→実践→検証→改善

- 交流年間計画表
- 作成手順
- 架け橋コーディネーター等によるサポート

(1) 架け橋期に期待する子どもの姿

「共感的協働力」

「周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間とともに育ち合う子ども」

「ふるさとキャリア教育」

- 地域とのつながり・関わり
(知る・親しむ・楽しむ)
- 主体的な学び
- 自己肯定感
- 本物体験（五感を通して直接体験）の重視

「おおだて型学力」

- 共感的協働力
=響学（育ち合う・学び合う）
- 一人たりとも置き去りにしない=個々の育ちを見取り、引き出す

「かけ橋期」

- 人間的基礎力
- 学びの喜びや楽しさを実感
- 子どもの意欲や期待に応える保育・授業
- 学びの自覚化
- 「10の姿」を共通言語にして、つなぐ

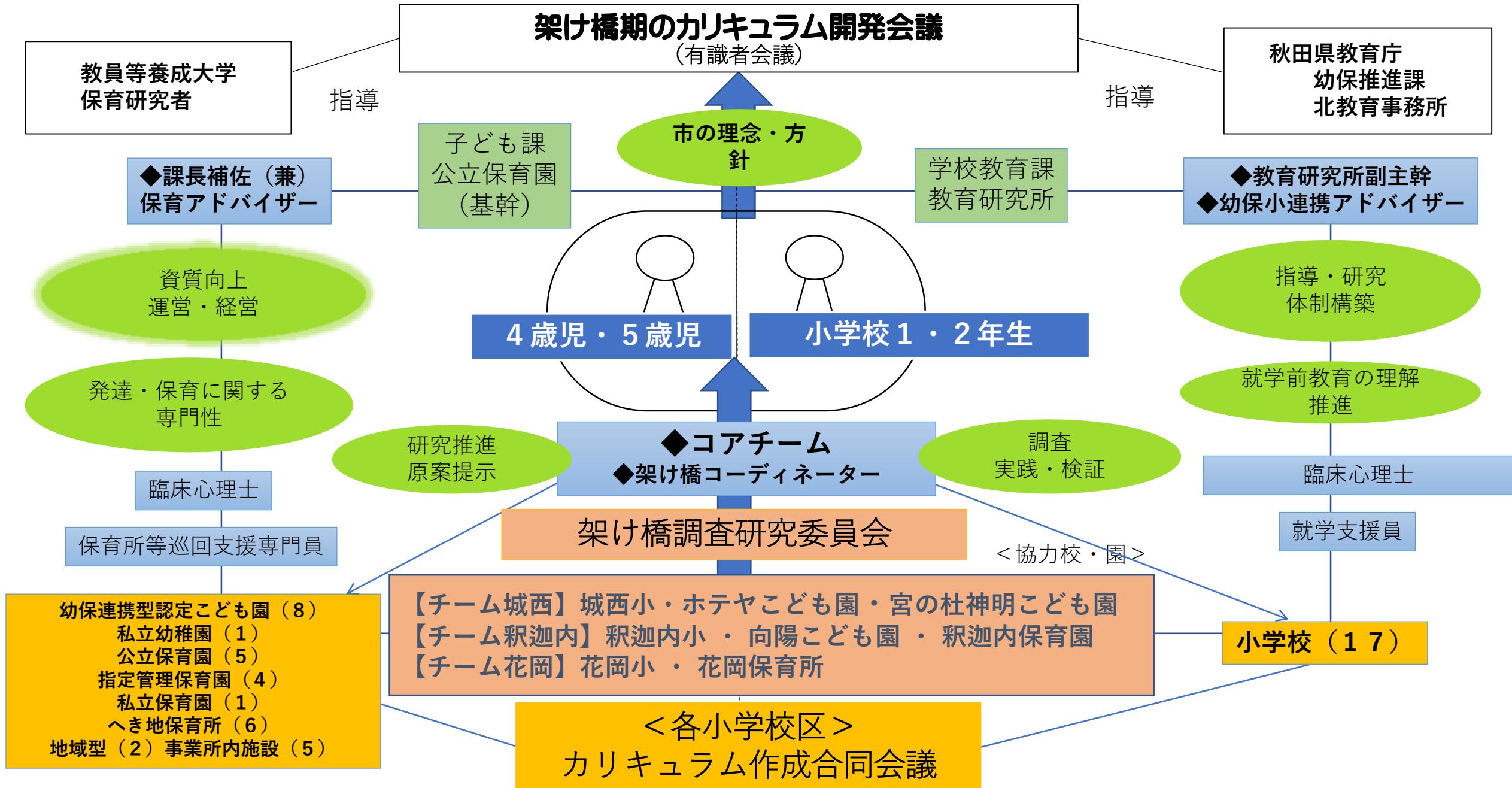
(2) 架け橋期のカリキュラムの作成に当たって

- ★本市では4歳児から小学校2年生までを架け橋期と捉える。
- ☆小学校への適応を急ぐのではなく、就学前の学びや体験の延長線上に、発達の特性に応じた学びを積み上げる。
- ☆学びの喜びや楽しさを実感できるよう子どもの意欲や期待に応える保育・授業を開く。
- ☆すべての学習の土台となる「ことば」「言語活動」における伸びしろを十分引き出す教育・保育実践を大切にする。

◎協議の場 「調査研究委員会」「カリキュラム作成合同会議」

- ◆園と小学校が、**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿「10の姿」**を視点に同じ子どもたちの姿から育ちを語り合う。
- ◆3つの資質・能力をベースに、幼保小が同じ方向性をもった「ねらい」、それに基づいた活動や体験を設定する。

(3) 架け橋期のカリキュラム開発に向けた体制



①

架け橋期のカリキュラム開発会議



市としての方向性やコアチームによる原案の検討・指導助言
モデル地区の取組の経過報告

委員長 保育養成大学の学長

委員 モデル校区の小学校長

県教育庁幼保推進課指導主事

〃 北教育事務所指導主事

私立学校協議会代表(認定こども園長)

私立保育園長代表、公立保育園長

市(子ども課・教育委員会) 計 11名



① 8月24日 (市としての現状の課題・架け橋期の重点・研究推進)

② 1月25日 (市共通版カリキュラム、モデル地区の研究経過)

③ 2月28日 (モデル地区のカリキュラム、1年次の成果と課題、カリキュラム作成研修資料)



② カリキュラム作成のための研究組織

R 5年度

事業推進

研究推進の コアチーム

子ども課

- 保育アドバイザー
- 教育委員会
- 教育研究所 副主幹
- 架け橋コーディネーター
- 幼保小連携アドバイザー

☆カリキュラムの作成・実践・検証

- ・市共通版カリキュラムの作成・周知
- ・カリキュラム作成へのサポート

実践・検証

架け橋調査研究 委員会

研究協力校・園

(モデル地区)

- 教務主任
- 主任保育士
- 主幹保育教諭
- 1年生担任
- 5歳児担任 等

☆カリキュラムの作成・実践・検証

- ・モデル地区版カリキュラムの作成
- ・校園の連携、交流
- ・事例提供

実践・検証

カリキュラム 作成合同会議

全小学校・園

- 管理職
- 教務主任
- 主任保育士
- 主幹保育教諭
- 1年生担任
- 5歳児担任 等

☆カリキュラムの作成・実践・検証

- ・小学校区版カリキュラムの作成
- ・校園の連携、交流
- ・事例提供

(4) 本市におけるかけ橋期のカリキュラム作成の進め方



| | | 1年目 | 2年目 | 3年目 |
|--------|---|-------------------------------|------------------------|-----|
| 市共通版 | ▶架け橋充実期 (5歳児10月～1年生7月) ▶かけ橋期 (5歳児4月～1年生3月) | ▶4歳児～ 小学2年生 ▶検証・評価 | ▶改善 | |
| モデル地区版 | ▶架け橋充実期 (5歳児10月～1年生7月) | ▶実践 ▶かけ橋期 (5歳児4月～1年生3月) | ▶実践・検証・評価 | |
| 各小学校区版 | | ▶架け橋充実期 (5歳児10月～1年生7月) | ▶かけ橋期 (5歳児4月～1年生3月) | |

① 釧路内小学校区 年間交流のまとめ（R 4）

| | 子どもの交流活動 | 教職員の参観・合同研究会 | 架け橋調査研究委員会 |
|------|------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 5月 | ①ひまわり活動（種袋詰め） ②田植え ③ひまわり活動（種まき） | ①授業参観+情報交換会 | |
| 6月 | | ②要請訪問（保育参観）+協議（向陽こども園） ③生活科TT授業+協議 | |
| 7月 | ④プール授業参加2回 | | |
| 8月 | | ④小学校教諭の保育体験（向陽こども園） |  |
| 9月 | ⑤ひまわり収穫 ⑥学習発表会予行見学 | | |
| 10月 | ⑦稲刈り ⑧焼き芋交流会 | ⑤要請訪問（保育参観）+協議 釧路内保育園 | |
| 11月 | ⑨生活科交流授業 | ⑥交流授業打ち合わせ3回 | |
| 12月 | | | ①協議（課題・目指す姿） |
| 1月 | ⑩図書館体験 | | ②カリキュラム作成 |
| 2・3月 | ⑪学校体験 ⑫雪遊び交流 | ⑦新入生情報交換 | ③カリキュラム作成 |

②

カリキュラム作成までのプロセス（職員間の交流により互いの保育・教育の理解を図る）

▼園見学、保育参観

▼授業参観・授業への参加



▼合同の研究協議



10の姿を視点に、保育・
授業での子どもの姿を協議

保育方針、子どもの見取りや
遊びの見方の説明を受けて

▼小学校教諭の保育体験



③ カリキュラム作成までのプロセス（子どもの交流活動を通して子どもの姿の理解を図る）

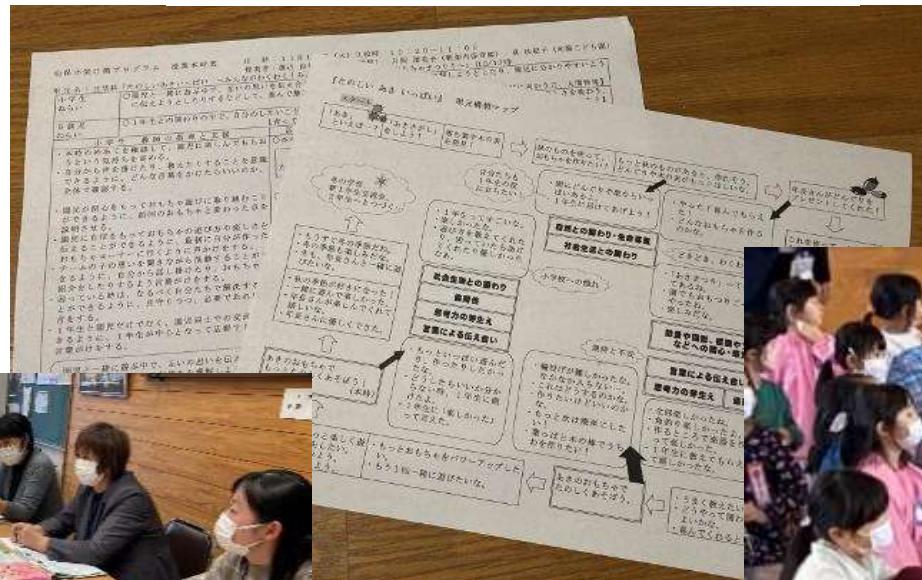
幼保小交流授業・保育

「たのしい秋、いっぱい（生活科）

▼交流2

釧路内小学校 + 向陽こども園 + 釧路内保育園

▼合同での指導案作成



▼交流1



▼事前の協議



④ カリキュラム作成のプロセス（モデル地区の調査研究委員会の開催）

1

まずは、子どもの実
態を出し合い・・・
学区の強み、子ども
や家庭・地域の課題を
共有



2

学区として大切に育てた
い力、共通して体験させた
いことは・・・



3

目指す姿、ねらい
を焦点化・・・

しかし、文章にす
るのは難しい！



⑤ 架け橋期のカリキュラム開発会議（R 4 の総括）

- ・カリキュラム作成は大変な作業。しかし、そのプロセス（話し合い）を通して自ら保育や授業を振り返ったり、連携の大切さに気付いたりできていることこそが、この事業のすばらしい成果。
- ・今年度末のカリキュラム完成は50%を目指す。あとは、実際に活用しながら保育・授業を実践していく中で修正し、完成を目指していく。
- ・少子化となっている今、子どもが保育所、こども園にいようとも、「大館の子ども」として区別なく育っていくべき。そのための連携・協働は必要。

◎本市の教育理念・事業の目的・カリキュラムの必要性を

☆理解→実感→共感

☆共有化→明確化→可視化



(5) 大館市共通版「架け橋充実期のカリキュラム全体計画」

(5歳児10月～1年生7月)

- ## ● 架け橋期に期待する姿 ● 期ごとのねらい

- 育みたい資質・能力
「知識・技能の基礎」
「思考力・判断力・表現力の基礎」
「学びに向かう力・人間性等」

?

3つの「資質・能力」の分類の精査

- 交流活動・行事・ふるさとキャリア活動
☆子ども交流 ★職員交流

？
項目は、
これでいいのか

- 環境の構成、援助のポイント ●家庭との連携
※具体的な展開例の解説を別添資料とする

就学前 5歳児

〈資料3〉 大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育む～う子ども～

| 【知識及び技能の基礎】 | 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、出来るようになったりする。 |
|-----------------|---|
| 【能力・判断力・表現力の基礎】 | 気付いたことやできるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。 |
| 【学びに向けた力・人間性等】 | できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。 |



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

| | | | |
|-------------|------------|----------------|------------------------|
| ア：健常な心と体 | イ：自立心 | ウ：協同性 | エ：道徳性・規範意識の芽生え |
| オ：社会生活との関わり | カ：忍耐力 | キ：自然との関わり・生命尊重 | ク：数値や图形、標識や文字などへの関心・感覚 |
| コ：言葉による伝え合い | コ：豊かな感性と表現 | コ：豊かな感性と表現 | コ：豊かな感性と表現 |



市共通版「架け橋期のカリキュラム」

★架け橋期 5歳児 4月～3月

- ★架け橋期 5歳児 4月～3月
- ・自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。
 - ・国生活の見通しをもち、時間を意識して行動し、気持ちを切り替える。
 - ・気温によって着替えや水のでき方が違うことなどから自然現象への関心を高めたり遊びに生かしたりする。
 - ・遊びや生活中で、物の準備や後片付けをしながら、数える、比べる、形を工夫するなどを意識する。
 - ・園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう。
 - ・みんなで気持ちを合わせて表現したり取組合ったりして協き合いを楽しむ。
 - ・国生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。
 - ・困った時には、友達や先生に自分から話したり、お願いしたいことを伝えたりして、自分で解決しようとする。
 - ・楽しく生活するためにはまりを守ったり、新たにつくったり、必要に応じてつくり替えたりする。
 - ・園生活を振り返り、自分の成長や自分が大切にされていることに気付き、周りの人たちへの感謝の気持ちをもつ。
 - ☆子どもと一緒に楽生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自己の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。
 - ☆卒園に向けて、他の成長に気付く、お世話を始めた方々への感謝の気持ちをもてる指導を工夫する。
 - 就学への期待をもてるように、小学校の学習や生活の様子を見学したり1年生と交流したりする。
 - ・卒園式、入学式までの予定を示し、見通しをもって準備できるよう支援する。
 - ・子どもの頃振りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるよう激励しますや言葉掛けをお願いする。
 - ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるよう子どもへの関わりと一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場所につなぐ。場合によっては小学校と情報共有する。

小学校

1年生

〈資料4〉大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育つ子ども～

【知識及び技能の基礎】 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、出来るようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】 気付いたことやできるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

【学びに向かう力・人間性等】 できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。また、自分や友達の成長に気付き、お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。

| 月 期 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|----------------|---|---|--|---|---|---|----|----|----|---------|---|---|
| ねらい | 1年生 第一期 | 1年生 第二期 | | | | | | | | 1年生 第四期 | | |
| 知能及び技術の基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。 ・ 楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど）のよさを実感し、並んで実践しようとする。（アイウオ） ・ 友達と一緒になかなかよく運動や遊びに取り組み、身体を動かす気持ちはよさや楽しさを味わう。（アイウ） ・ 新しい学習に興味をもち、教科書や鉛筆などの正しい使い方、姿勢などの学習の約束を進んで生かそうとする。（イエカ） ・ 気付いたことや分かったことを進んで話し、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことに注意して聞こうとする。（イイグ） ・ 本に興味をもって読み聞かせを聞いたり、学級文庫などから読みだした本を見付けて読みもうとする。（オ） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共に共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。 ・ 生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもってやマナーを守って行動したりしようとすると。（アイウオ） ・ 学校や通学路、公園などで安全に生活するために付き、守って行動しようとする。（アエカ） ・ 開き手を見て話したり、話し手に共感して相づちながら語りたいとする。（ウエカ） ・ 言葉遊びに興味をもつて、音のまとまりや言葉の響きを楽しむ。（クケ） ・ 植物の栽培や観察などを通して、自然の不思議をいろいろと見ていく。（キ） | | | | | | | | | | |
| 思考力・判断力・表現力の基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 気付いたことや分かったこと、想像したことなどを友達とやり取りする楽しさを味わう。（カケコ） ・ 鳴なきことや経験したことなどから伝えたいことを選び、絵や言葉で表現する。（カクケコ） ・ 鳴なき鳴き声の春の様子を観察して季節の変化に気付く、遊びや生活を取り入れる。（カキコ） ・ 学校探検で見付いたことや分かったことを自分の生活との関わりで況え、友達と伝え合う。（カケコ） ・ 自の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現したり、生活に生きたりする。（カキクコ） ・ 自の回りにある数やものの順番、長さなどの比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現する。（カク） ・ 学級をより楽しくするために係の仕事を見直すなど、学級の生活を自分たちで工夫しようとする。（イオウ） ・ 目標に向かって自分の力を發揮したり、友達や上級生と助け合って取り組んだりすることを通して、お互いのよさを理解し連帯感や所属感を深める。（アイウ） ・ 周囲の生き物の誕生や成長の様子を見つめ、興味をもって関わったり、命を大切にしようとする。（エエキ） ・ 自分でできることや当番、係の仕事を進んで行い、仲よく助け合って目標を達成しようとする。（アイウオ） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、よりよい方法を考える。（ウカケ） ・ 自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝える。（カクケコ） ・ 秋の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで試したり工夫したりして遊びを創り出す。（カケコ） ・ 自の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現したり、生活に生きたりする。（カキクコ） ・ 自の回りにある数やものの順序、長さなどの比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現する。（カク） ・ 友達のよいところを見付け、お互いのよさを認め合う人切さに気付き、生きる喜びや笑顔をつくろうとする。（イオウ） ・ 友達や家庭に感謝し、みんなの役に立つ貢献を感じ、自分の役割を果たそうとしている。（イイオ） ・ 向んでもらえる活動や場に適した話し方や接し方を考えて、高齢者や年長児との交流を楽しむ。（イエカ） ・ 学習や生活の過程や結果を振り返り、よさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。（ウオ） | | | | | | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性等 | <ul style="list-style-type: none"> ★☆行方不明者対応ガイド書類の提出 始業式 入学式 1年生を迎える会 食堂開始 ★就学支援ファイル ○ 横浜市立の構成ポイント <ul style="list-style-type: none"> ☆ 入学した言ひをしたり、丁寧な言葉遣い ☆ 幼稚園時代の経験をもとに、ママさんに支えられたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> 会議会 假休み ★休業休校 ★夏季講習会 ☆プール遊び交流 読書選定 就学相談 幼保小中連携メディアコントロール選定 ★小学校市教研総合会への参加 始業式 教の復活 学習発表会 朝詠説会 クリスマス会 ☆1年生との交流 ★1年生との交流 終業式 夏休み | <ul style="list-style-type: none"> 始業式 部分 ★情報交換会 運動会 6年生送る会 休憩入浴 会員式 挑戦式 ★選課・選択の保護・教育支援会員の活動 | | | | | | | | | |
| 家庭との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の内訳、一年生の目標、家庭について伝え、理解を得る。 ・ 一年間の予定や通勤の具体的見通しをもてるようにする。 ・ 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするなど、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の立場で、学校行事や学年の活動、TAN活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の方へ、保護者の立場で、学校行事や学年の活動、TAN活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。 | | | | | | | | | |



単元の構成を明記



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

- | | | | |
|----------------|------------------------|-------|----------------|
| ア：健康な心と体 | イ：自立心 | ウ：協同性 | エ：道徳性・規範意識の芽生え |
| オ：社会生活との繋わり | カ：思考力の芽生え | | |
| キ：自然との繋わり・生命尊重 | ク：数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚 | | |
| ケ：言葉による伝え合い | コ：豊かな感性と表現 | | |
| | コ：豊かな感性と表現 | | |

市共通版「架け橋期のカリキュラム」

★架け橋期 小学1年生 4月～3月

む。（エオ）

- ・ 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりしてよりよい方法を考える。（ウカケ）
- ・ 自分の伝えたい目的や相手に応じて言葉や方法を選んで伝える。（カクケコ）
- ・ 秋の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで試したり工夫したりして遊びを創り出す。（カケコ）
- ・ 自の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現したり、生活に生きたりする。（カキクコ）
- ・ 自の回りにある数やものの順序、長さなどの比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現する。（カク）
- ・ 友達のよいところを見付け、お互いのよさを認め合う人切さに気付き、生きる喜びや笑顔をつくろうとする。（イオウ）
- ・ 友達や家庭に感謝し、みんなの役に立つ貢献を感じ、自分の役割を果たそうとしている。（イイオ）
- ・ 向んでもらえる活動や場に適した話し方や接し方を考えて、高齢者や年長児との交流を楽しむ。（イエカ）
- ・ 学習や生活の過程や結果を振り返り、よさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。（ウオ）

- ・ これまでの学習や経験を生かし、事林の順序に沿って様成を考えて1年生の思い出を書く。（ケコ）
- ・ 雪や氷の特徴を生かした遊びを何度も繰り返し、友達と遊びを発展させる。（ワカキ）
- ・ 入学した頃の自分との自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたりする。（イオカ）
- ・ 数量の関係に苦慮して、図を用いて問題の解決方法を考え自分や友達の考え方や言葉を用いて説明する。（カクク）
- ・ 新しい1年生に、学校のことを分かりやすく伝えるために方法を工夫する。（ワオカケコ）
- ・ 自分のよさや友達のよさに気付き、互いに認め合い、これからも自分の得意などを生かしながら役割を果たしていくようとする。（アイウ）
- ・ 地土の文化や習慣、他国の言葉や文化などに触れ、慣れ親しむ。（オ）
- ・ 1年間の学習や生活を振り返り、同級の人に支えられて成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとしている。（アイオ）
- ・ 「6年生を送る会」や卒業式の準備や練習を通して6年生に感謝の気持ちをもつ。（オ）

- ※ 体験学習では新1年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。
- ☆ 「ありがとうございます！」や「いいねカード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。
- ☆ 各教科を通して、1年間の成長を認め、2年生の学習や生活への意欲を高める。
- 1年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。
- ・ 子どもの成長について家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。
- ・ 自信をもって進級できるように、子どもが自分で気付かない内面の成長について気付かせてもらうようにする。
- ・ 進級に当たって生活リズムや持ち物の確認を維持してもらうようにする。

(6) モデル地区「架け橋充実期のカリキュラム全体計画」

- ## ● 「かけ橋期に期待する姿」 ● 期ごとの「ねらい」

- 期ごとの「小学校区で目指す子どもの姿」
※子どもの実態や課題の協議から焦点化された
3つの重点

- 「共通して充実を目指す活動・体験」
※園と小学校が具体的に協議する

- 「交流活動・行事・ふるさとキャリア活動」
☆子ども交流 ★職員交流

- 「環境の構成、援助のポイント」●「家庭との連携」
※具体的な展開例の解説を別添資料とする

(7) カリキュラムを意識した指導 (釈迦内保育園 5歳児) 「お話作り・劇遊びをしよう」 カリキュラム作成研修資料 p 20・21

釈迦内小学区の実践より

◆**目指す子どもの姿** 「協力し合う子ども（協働性）」

「遊びや生活の中で、嬉しかったことや悲しかったこと、できるようになったことなどを友達と伝え合って共有したり、共感し合ったりする喜びを味わう」



→◆**共通して充実を目指す活動・体験**

<さくらタイム>遊びや活動を振り返り、
明日の遊びにつなげる。

(8) カリキュラムを意識した指導 (1年生5~6月)

「かかりのしごとをしよう」

カリキュラム作成研修資料 p 5, 26・27

◆育みたい資質・能力



○学級をより楽しくするために係の仕事を見直すなど、学級の生活を自分たちで工夫しようとする。

イ：自立心

ウ：協同性

オ：社会生活との関わり

○聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちなどの反応をしながら聞いたりする。

ウ：協同性

エ：道徳性・規範意識の芽生え

ケ：言葉による伝え合い

○経験したことや身に付けたことを生かしたり、友達の考えを取り入れたりして、よりよい方法を考える。

ウ：協同性

カ：思考力の芽生え

ケ：言葉による伝え合い

(9) 架け橋カリキュラムの作成・周知に

向けて

- 「カリキュラム作成研修資料」の活用
- 幼保小連携便り「つなぐ」による作成の手引きの活用

○作成の手順・ポイント

○各小学校区の取組状況の紹介



大館市教育研究所・子ども課発行
第17号
2022.8.5

**幼・保・小連携だより
つなぐ**

【R5年度 モデル地区以外の小学校区】

ステップ1 お互いの生活や学びの様子、子どもの育ちを知ろう

○お互いを理解するための研修や情報交換、交流を進めます。
園内、校内の研修で「架け橋プログラム」の意義や考え方、ねらい、「幼児期の終わりまでに育つてほしい姿（10の姿）」などを研修し、全職員で共通理解しよう。

実践事例】城西小学校学区（資料集P8～）
就学前の発達に関する研修会を実施。小学校の全職員と各園の主幹教諭保育教諭が参加し、「協働力」を感じ体感するゲームや校長先生の講話、グループ協議などにより幼児教育への理解を深めました。

実践事例】R5.8.7 上川沿小学校学区研修会
大館市教育委員会訪問会を活用し、小学校全職員と南が丘こども園の保育教諭が参加して研修を行う予定です。

1 講話（市教育委員会副主幹山本先生）
・「架け橋プログラム」の意義とねらい
・大館市の取組

2 架け橋カリキュラム作成合同会議
・上川沿小学校区の「目指す子どもの姿」について、子どもの姿に基づいて語り合う。

○子どもの実態を交流し、お互いの保育・教育内容や指導方法について理解し合います。
・保育参観、授業参観、情報交換、保育体験などを通して、お互いの保育、教育を見合い、一日の生活の様子や子どもとの関わり方などについて理解し合おう。
・「10の姿」を視点に参観し、お互いの子どもの学びと育ちについて語り合おう。

実践事例】新道内小学校学区（資料集P12～）
小学校生科の授業に各園の主任・5歳児担任がTTとして参加し、研究協議では「10の姿」を視点に子どもの姿を語り合った。「学びや育ちのつながり」に気付くことができる研修となりました。

実践事例】岡崎小学校学区（資料集P16～）
保育参観後、小学校教諭も研究協議に参加し、「10の姿」を視点に子どもの育ちを語り合っている。年間を通して交流活動が位置付けられているため、育ちのつながりを意識した話し合いにつながっています。

○学校区の「期待する子どもの姿」期ごとの「ねらい」の方向性を共有します。

～「接続の視点」を意識した情報交換を～
幼児が遊びを通して環境や友達と関わり学びを深める様子を「幼児期の終わりまでに育つてほしい姿（10の姿）」や「主体的、対話的で深い学びの実現」など、共通の視点で語り合い、「1年生の終わりにはどのような姿になってほしいのか」を共有しましょう。

◆資料集P8～19「モデル地区の実践」を参照。

着いたところの状況を訪問さ

実践カリキュラムの複数あるようお願いします。

の育者のための共通言語にて、お互いの姿（10の姿）で、子どもの学びや生活の様子、理解することで、理解

実践カリキュラムは、そのものを使いこなすことであります。園や保育園でも、子どもに生活や学習環境を自分で創造する活動をそれぞれで。お母さんで幼児期を大切にし、課題を解決する

係者、有識者、子育て親等であります。今後も、架け橋カリキュラムは、新しい主体的ともに生活や学習環境で、架け橋

の各階、段階を重んじて、年段や年齢的なもの、年齢にして位置づけます。する際の考え方です。

教育支援ですが、その他の園や小学校どうか、教職のご理解とご



(10) 5年度の取組の流れ（モデル地区以外）

- 4月～市教委が校長会で資料配付、説明、協力依頼
「小学校側から、声をあげてください」
- 5月17日～「幼保小連携推進会議」資料配付、作成手順の説明、
小学校区ごとの年間計画
- 6月1日～「幼保小担任研修会」資料配付、作成手順の説明
***田村学先生の架け橋プログラムに係る講演会**
- 1学期～相互に保育・授業を参観
- 夏休み～「カリキュラム作成合同会議」課題や目指す子どもの姿、
共通して充実を目指す活動・体験を協議
- 2学期～子ども同士の交流活動、教職員同士の研究協議
- 冬休み～「カリキュラム作成合同会議」共通して充実を目指す
活動・体験、交流活動・行事の欄を作成
- 3学期～小学校区としての素案完成→次年度に実践しながら検証・改善

3 教師・保育者の指導・援助と子どもの学びの変化

(1) 小学校区のチームワーク



- 異質なものが出会うことで「**化学反応**」が生まれる
 - ・・・気付きから生まれる自らの保育・教育の見直し
- 顔が見えるおつきあいで「**仲間意識**」「**主体性**」「**発展**」が生まれる
 - ・・・交流や連携のわくわくするアイデア、気軽な交流
- 「子ども」を中心に据えた幼保小中教育の「**融合**」が生まれる
 - ・・・学区の課題や目指す子どもの姿を共有
家庭や地域と一体になった取組へ

大人たちの
共感的協働力

(2) 小学校1年生担任



- 園生活や就学前の育ちを知り、子どもを**信じて任せる授業**へ転換
- 一人一人の**違いを尊重**する姿勢、**肯定的**な見方、言葉かけ
- 成功させるための準備よりも、**思いや願いの醸成**を重視
- 子どもが話したくなる、考えたくなる**仕掛け**、**授業展開**
- 子どもの**発達に合った**指導や援助

(3) 5歳児担任

- カリキュラムに示された資質・能力や「10の姿」への**意識**
- 身につけたい資質・能力を引き出す**意図的な環境の構成**
- 子どもの**発達を見取る**、**見通す目**

(4) 5歳児 向陽こども園 (9月)



- 切実な願いが、**主体性**や**協同性**を引き出す
- 話し合いの充実が、**意欲**や**共感性**につながる

チョコバナナは、役割を決めてできてよかったです。バナナが取りにくいからまっすぐ立てたい。台をもっとかわいくしたい。

くじの景品が足りなくなってしまった。もっと作ればよかった。



もっと新しいお店もやりたい。たこ焼き屋さんとか、金魚すくいとかやつたら喜んでくれるんじゃない。

おばけ屋敷をもっと怖くしたい。お客様に、おばけを作ってプレゼントしたい。

▶ 発展した遊びを終えての振り返り

- ・前よりも進化したから、もっと楽しいお店になった。
- ・新しい金魚すくいの店にもいっぱい来てくれた。
- ・役割分担がちゃんとできた。
- ・台を丈夫にしたからよかった。・飾り付けがよかった。

(5) 釧路内小学校1年生 算数 (9月)

- 5歳児の「振り返り」の経験が、そのまま1年生の姿へ引き継がれる
- 受容的な雰囲気、肯定的な反応で、共感性はさらに伸びる
- みんなで考えを出し合い、解決に向かうことで協働性が高まる

自分でめあてを見つけたり、自分たちの言葉で授業のめあてを作ったりする姿

声が小さい子が発表する時「静かにして。」「頑張れ。」という声が自然とあがる。時間が掛かってもきちんと待つ姿。



「同じだよ」「質問があります」「だってこれは○○だからだよ。」「でも○○…。」と、友達の意見を聞いて答える姿

なぜそう考えるのかの理由を話したり、友達の話をよく聞いて付け足しや反対の意見を出し合ったりする姿

(6) 1年生 花岡小学校 算数 (10月)



(7) 検証のための 「交流振り返りシート」

○気軽な振り返り、
記録の蓄積

○情報共有・共通理解
のツールとして

○紙上（メール）での
改善に向けた意見交換



| | |
|---|----------------|
| 大館市立駅迦内小学校区 | |
| 実行事名 | 2年生・5年生とのひよわりの |
| 実施年月日 | 令和5年9月6日(水) |
| 向陽こども園の気付き | |
| <p>中高に上がるひよわりの事と話すとき、楽しかしながらも、2年生に優しく他の取扱方を教えてもらったり、「各班は何をつく?」と聞く手を握りてからつづいてお腹(腹)を楽しむことができました。またタイムでは、子ども達から「かわいいこらもあつた」と楽しめました。」「いいきれいなけいさんと話を聞いたら、」といふ感想が聞かれました。もっと会話をしながら元気できたらもっとよかったです。</p> | |
| 駅迦内小学校の気付き | |
| <p>児童の絵日記には、向陽子ども園のおかげがーしたこと、「かんぱるぞー！」と園児が言っていた。これはかことなどが書いてあり、園児のいいところのためにどんなことができたのか、どんな内容よかったです。そのためには、こんなときはどうぞどんな働きかけができるかを考えておくことが大切です。</p> | |
| 次回の交流に向けて | |
| <p>・5年生も一橋だったということもあるかもしれないことにしたかった。(区)</p> <p>・5年生上回りの際の皆のパシションなど、成長していくので、教えてられる立場となり、本人たちの生が教えるという立場を実現にするには、「5年生のように改えていか!」→「実際に園庭と活動」で経験するえない環境というのも大事なのでペアペアでもよいかもしない。今日は、石取りが力をお頼りしたので、すち合わせハ足をあつたに、校庭で一緒に遊ぶなど触れ合いタイムがあつた。</p> | |

大館市立駅迦内小学校区 交流振り返りシート



交流行事名

「あきまつり」に向けて園であきを探そう！

実施年月日

令和5年10月31日(火)

令和5年11月1日(水)

場所

向陽こども園 園庭

駅迦内保育園 園庭

向陽こども園の気付き

- ・1年生から半前に「あきまつり」に向けて手紙をもらつてから、ずっと楽しみにしていたので、1年生が園に来てくれたと喜んでいた。会話の少ないグループもあつたが、卒園式を中心とした「こっちにもあるよ。」「あっちに行つてみよう!」と話しながらあきを探める姿が見られた。振り返りでは「〇〇くんと仲良くなれた。」「〇〇さんと一緒に集めて楽しかった。」など、お互いに名前を覚えていたのが印象的だった。

駅迦内保育園の気付き

- ・1年生の子供から期待感をもつて過ごしていた。それだけに結果しようとする姿もあったが、グループの名前がつたお詫びや、互いの名前を確認しながら準備ることができた。報告の高い場所の木から葉を取らうと協力する姿を見守ることで達成感を感じる姿につながった。保育士も名札を付けていたことで、「これを使っていい?」と尋ねることができていた。

駅迦内小学校の気付き

- ・事前に、1チームで行動する「園の子たちをたくさんほめる」など、関わり方にについて相談をして臨んだが、あきさかしに集中になって、崩れて、ようやくまとまりた。一緒に行動しようという意識は見られた。竹斎さんが身近な場所ということもあり、1年生に教えてあげたり、高いところは台を使って取つたり、普段の生活が牛かされている場面が多つて、とても良かった。(こども園)
- ・昨日、向陽さんとの交流を満喰して、「チームでまとまって動作なかつた」「はめる言かけ忘れた」という反省を生かして臨んだ。子どもたちは意識して、手をつけない限り、「いつれいはっは取れたね」とと声をかけたりする場面も見られ、探し方に変化があったことに成長が見られた。竹斎さんの振り返り、「そうすけさん」など、相手の名前を付けて、話すところがとてもよいと感じた。(保育室)

次回の交流に向けて

- ・運びとの差別になるので、1年生と話しながら、楽しく活動してほしい。(向陽)
- ・3人のグループは互いの顔が見える分かりやすい人数であると思った。これから取り組む作業半角も子供たちの手で、可視化できると思いと張った。(駅迦内)
- ・向陽さんとの交流の生力をより振り、「チームで動けなかつた」「はめる言葉を忘れた」などの反省があるので、明日の駅迦内保育園との交流は、その点を改善して活動してみたい。次回のものづくりの活動では、同じで行動、「チームで協力」「相手意識を持って」など、交流が深まるように前向きにしておきたい。(小学校)

4 次年度以降の展望



- 全17小学校区のカリキュラムを活用しての各園の保育の計画、年間指導計画の見直し
- 架け橋カリキュラムを基にしたアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの実践展開
- 架け橋期の育ちと学びの重要さを家庭や地域へ啓発
- 人事異動による関係者の入れ替えのため、架け橋期のカリキュラムに関する研修は毎年継続
- 3年次のカリキュラム開発会議委員の再編・拡大

関係する小学校区の架け橋カリキュラムを基にして 「アプローチ・スタートカリキュラム」「5歳児の週案・月案」等を 作成→検証

幼稚園教育要領
認定こども園教育・
保育要領
保育所保育指針

小学校学習指導要領
総則・生活科

複数校に
入学する場合は?

市共通版
架け橋期のカリキュラム

セレクト&オリジナリティ

A小学校区版
カリキュラム

B小学校区版
カリキュラム

C小学校区版
カリキュラム

D小学校区版
カリキュラム

E小学校区版
カリキュラム

A園アプローチカリキュラム
(保育の計画)

C小学校
スタートカリキュラム

B園アプローチカリキュラム
(保育の計画)



ステップ1 お互いの生活や学びの様子、子どもの育ちを知ろう

主に1学期・夏休み

○お互いを理解するための研修や情報交換、交流を進めます。

園内、校内の研修で「架け橋プログラム」の意義や考え方、ねらい、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」などを研修し、全職員で共通理解しよう。

【実践事例】城西小学校学区（資料集P8～）

就学前の発達に関する研修会を実施。小学校の全職員と各園の主幹教諭保育教諭が参加し、「協働力」を体感するゲームや校長先生の講話、グループ協議などにより幼児教育への理解を深めました。



【実践事例】R5.8.7 上川沿小学校学区研修会

大館市教育委員会訪問を活用し、小学校全職員と南が丘こども園の保育教諭が参加して研修を行う予定です。

- 1 講話（市教育委員会副主幹山本先生）
 - ・「架け橋プログラム」の意義とねらい
 - ・大館市の取組
- 2 架け橋カリキュラム作成合同会議
 - ・上川沿小学校区の「目指す子どもの姿」について、子どもの姿を基に語り合う。

○子どもの実態を交流し、お互いの保育・教育内容や指導方法について理解し合います。

- ・保育参観、授業参観、情報交換、保育体験などを通して、お互いの保育、教育を見合い、一日の生活の様子や子どもとの関わり方などについて理解し合おう。
- ・「10の姿」を視点に参観し、お互いの子どもの学びと育ちについて語り合おう。

【実践事例】釧内小学校学区（資料集P12～）

小学校生活科の授業に各園の主任、5歳児担任がTTとして参加し、研究協議では「10の姿」を視点に子どもの姿を語り合った。「学びや育ちのつながり」に気付くことができる研修となりました。



【実践事例】花岡小学校学区（資料集P16～）

保育参観後、小学校教諭も研究協議に参加し、「10の姿」を視点に子どもの育ちを語り合っている。年間を通して交流活動が位置付けられているため、育ちのつながりを意識した話し合いにつながっています。



【実践事例】R5.6.29 西館小学校学区研修会

事前に行なった5歳児の保育参観、1年生の授業参観の後、子どもの姿を基にして「よさ」や「課題」、「どんな姿を目指したいか、願い」などを話題にしてワークショップを行いました。



○学校区の「期待する子どもの姿」期ごとの「ねらい」の方向性を共有します。

～「接続の視点」を意識した情報交換を～

幼児が遊びを通して環境や友達と関わり学びを深める様子を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」や「主体的、対話的で深い学びの実現」など、共通の視点で語り合い、「1年生の終わりまでにはどのような姿になってほしいのか」を共有しましょう。

➡資料集p8～19「モデル地区の実践」を参照。

架け橋カリキュラム作成の手順とポイント

ステップ2 「期待する子どもの姿」を共有しよう

○幼保小合同会議で、学校区の「ねらい」、「目指す子どもの姿」「共通して充実を目指す活動・体験」について、子どもの姿を基にして話し合います。

①学校区の「かけ橋期に期待する子どもの姿」を
子どもの実態等を基に話し合い共有します。

○ 何を基にして考えるのか、例として・・・

- 3要領・指針、学習指導要領で育みたい子どもの姿
 - 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
 - 大館市の方針「架け橋期に期待する子どもの姿」
 - 園、小の目標、目指す姿、重点としていること
 - 学校区の子どもの実態「よさ」や「課題」
 - 地域や保護者の願い □ 学校区の特色 など

②市の共通版の「目指す子どもの姿」を、学校区の子どもの姿に合わせて見直す、または、重点とする力などで表します。

③市の共通版の期ごとの「ねらい」を、校区の子どもの姿に合わせて見直します。

○それぞれの「子どもの姿」をチェックします。

④「架け橋期に期待する子どもの姿」、「ねらい」、「目指す子どもの姿」の整合性はあるか。

⑤「ねらい」「目指す子どもの姿」は、期ごとに質の高まりがあるか。

ステップ3 「具体的な活動や体験」を位置づけよう

○「目指す姿」に向かうためにどんな活動や体験を重点とするかを明らかにします。

⑥学校区で「共通して充実を目指す活動・体験」の項目（共通の視点）を決めます。

○活動・体験は・・・

□学校区の自然や特色を生かす。

- ・ふるさとキャリア活動や地域の伝統文化、行事、季節の自然や文化を取り入れた活動などを位置付ける。
□子ども同士の交流活動を位置付ける。

- ・新しい交流の設定もあると思うが、△

- 活動・体験を通して何を育てたいか明らかにする。
・「10の姿」で書く（新潟内学区）・重箱を記号で書く（茨城学区）

- ・「10の姿」(表9。(積込内字区))
- ・重点を記号(表9。(化内字区))

【R5年度 モデル地区以外の小学校区】

城西小学校区 モデル地区架け橋充実期のカリキュラム全体計画

○カリキュラム作成合同会議参加者（例）

- ・園長、校長または教頭、
 - ・教務主任、主任・主幹教諭、
 - ・5歳児担任、1年生担任など

○準備する物（例）

- ・カリキュラム作成研修資料集
 - ・模造紙・付箋・マジック
 - ・園経営方針、学校経営計画 など

○進め方（例）

- はじめのあいさつ（小学校校長）
 - 自己紹介
 - 5歳児、1年生の1学期の様子について（担任）
 - 「架け橋期に育ってほしい姿」「目指す子どもの姿」・・・等の協議
 - 次回合同会議までの見通し
 - 終わりのあいさつ（園長・所長）

ステップ3 「具体的な活動や体験」を位置づけよう

○期ごとの「目指す子どもの姿」に対する「経験させたい内容」を設定します。



○単元の構成と配列をします。(小学校)

⑦幼児期の遊びを通した学びが發揮出来るように、また、児童の思いや願いをきっかけに始まる学びが自然に教科学習につながるように、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を工夫します。

☞資料集p24~31「カリキュラム展開例」を参照。

○朝・帰りの会や特別活動なども位置付けます。

⑧行事や朝・帰りの会、「学び合いタイム」や「読書タイム」「給食」「清掃」などの時間も含めて活動を位置付けます。

○実施時期を工夫します。

⑨季節や園・小の行事、活動のねらい等を考慮し、より効果的に展開できる時期に位置付けます。

○それぞれの活動や体験をチェックします。

⑩園・小の行事、FC活動、子ども・職員同士の交流などが効果的に位置付けられているか、無理なく実施できるかなどをチェックします。

※複数園、小がある場合は、活動を通して何を育てるか「ねらい」を同じにし、共通した活動名を付けてもよいし、自園、自校なりの活動名を付けてもよいです。

| | | |
|---|---|--|
| ⑥ | <ul style="list-style-type: none">・学校探検や春探しなどから、伝えたいことを選んだり、伝え方を工夫したりする。・自分のよいところや夢、できるようになりたいこと等、絵や言葉で表したり、友達と伝え合ったりする。・新しく出会う友達や教師と進んで関わわり、一緒に活動する樂しみや喜びを感じる。・楽しく学習や生活するために大切なこと（返事や挨拶、約束やマナー、言葉遣いなど）に気付き、進んで実践しようとするとても仲よく運動をする。・学校生活に見通しをもって、自分でできることは自分でしようとしたり、学習の準備を意欲的に行ったりする。 | ・あさかを、ひまわりに喜んで上級生とおしゃべり聞きながら最後まで楽しんで決める。 |
| ⑦ | <p>(1年) 楽しかったことや気付いたことなどを友達に伝え合う。 (8)</p> <p>くがんこつだいすき♪(生活) (アイウオカクケコ) 友達や先生と自己紹介したり、学校探検などで見付けたものや友達と伝え合う。 語感「どうぞよろしく!」 ・自己紹介 文字名前を書く。 「なんていのつかない」 ・過激に感じた言葉や動作を考える。 「みんなの みつけたり」 ・学校探検で見付けたものを友達と伝え合う。 園工「すきなもの いっぱい」 ・すきなものや見付けたものを絵に表す。 道場「どうしてこうなるのか」 ・楽しく生活するためのルールやマナーをもらえる。 体育「体ほぐしの運動遊び・固定施設遊び」 ・友達と一緒に校庭遊具で遊んだり、かっこいいをしたりする。 音楽「うたでなかよし」「なまえあそび」 ・歌で歌っていた歌や音の歌を歌う。 ・名前で歌ふ遊びをする。</p> | <p>くたりたい自分に向かって>(手洗) (アイウオカケ) ・自分の好きなことや得意なこと、できるようになりたいこと、夢などを考え、キャリアノートに書いて友達と伝え合う。 道場「みんなじょうず」 ・自分のよいところを見付ける。</p> <p>くみんなで 力を合わせて (アイウエオ) かけっこや玉入れ競争、ダンスなどの運動遊びに取り組む。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よく遊んだり、場の安全に気を付けてになります。 特活・紙割り競いの人と一緒に神隠に遊びに行く。 特活「運動会でがんばりたいこと」 ・目標を決めて取り組む。</p> |
| ⑧ | | |
| ⑨ | | |

ある園では、秋の発表会に向けて、子どもたちがシナリオ作りや道具作りなどのアイディアを出し合い自分たちで創っていく姿を目指して十分に時間を保障したいと考え、運動会を秋から春に変更しました。

ステップ4 「環境の構成や援助・支援」「家庭との連携」を記入しよう

○「活動や体験」に対する「環境の構成と援助のポイント」「家庭との連携」を記入します。

(市の共通版の内容を見直します。)

⑪「共通して充実を目指す活動・体験」が効果的に実施されるようにするための環境の構成(○)と援助・支援のポイント(☆)を記入します。

⑫「共通して充実を目指す活動・体験」が効果的に実施されるようにするための家庭との連携を記入します。

⑬家庭との連携には、市で重点としているメディアコントロール力を高めるための研修や生活の見直しの啓発なども位置付けます。

架け橋カリキュラム作成の手順とポイント

【R5年度 モデル地区、R6年度 モデル地区以外の小学校区】

ステップ5 架け橋期のカリキュラムをもとに実践しよう

○幼保小合同会議で、学校区の「架け橋期に期待する子どもの姿」を基に、「年間指導計画」や「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」を見直します。

①年間指導計画やアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの「目指す子どもの姿」や活動の「ねらい」等を、「架け橋期に期待する子どもの姿」を基に見直し、重点化します。

②各活動や体験で身に付ける資質・能力や活動の内容を「小学校区で目指す子どもの姿」を基に見直し、重点化します。

○「共通して充実を目指す活動・体験」を実践し、検証します。

③合同会議で「共通の視点」を確認し合い活動・体験の意図を共有する。

④保育・授業を参観し合ったり交流活動やTT、保育体験、交流活動等で保育や授業に参加したりして、子どもの学びの実態やつながり、先生の関わり方を共通理解し、実践する。

⑤活動のねらいが適切だったか、また達成されたかを検証し見直しする。

○事前・事後の打ち合わせのポイント

【事前の打ち合わせ】

- ・カリキュラムの「どの期のどの姿」に基づいた活動かを明確にし、活動によって「育てたい力」を共通理解する。
- ・子どもが主体的に遊びや学びを広げていける支援や援助を共通理解し、協働的に進められるようにする。

【事後の協議】

- ・子どもの姿についての一人一人の気付きや見取りを大切にし、幼小それぞれの立場からの見方や考え方を理解する。
- ・「幼稚園の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、ねらいの達成状況や環境の構成、先生の関わりを検証する。
- ・日々の実践や今後の取組に生かせる情報交換をする。

ステップ6 架け橋期カリキュラム(5歳児前期、1年生後期)を作成しよう

○ステップ2~4を参考に作成します。

①5歳児は4歳児からのつながり、1年生は2年生へのつながりを意識して「目指す子どもの姿」や活動・体験を考える。

ステップ7 架け橋期カリキュラムの評価・見直しをしよう

○カリキュラムの実践を通して、子どもの育ちを丁寧に見取り、「育ってほしい子どもの姿」につながっているかを評価し、子どもの実態に応じて改善しましょう。

- 「架け橋期に期待する子どもの姿」(大館市・学校区)、「目指す子どもの姿」(大館市・学校区)は、子どもの実態に合ったものでしたか？
- 各学校区の「共通の視点」(重点的に育てたい力)は、子どもの実態に合ったものでしたか？
- 「共通して充実を目指す活動・体験」の内容や時期は、適切でしたか？
- 「環境の構成・援助」「家庭との連携」は、適切でしたか？
- 子どもの交流、職員の交流は、年間を通して意図的・計画的に実施されましたか？
- カリキュラムの作成、実践は、子どもの育ちや学びのつながりを意識した保育・教育につながりましたか？
- 具体的な子どもの姿を基に評価したことを共有し、次の改善につなげましたか？

大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

| | | | |
|----------------|------------------------|-------|----------------|
| ア：健康な心と体 | イ：自立心 | ウ：協同性 | エ：道徳性・規範意識の芽生え |
| オ：社会生活との関わり | カ：思考力の芽生え | | |
| キ：自然との関わり・生命尊重 | ク：数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚 | | |
| ケ：言葉による伝え合い | コ：豊かな感性と表現 | | |

| 月 期 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|--|--|---|---|--|---|----|----|----|---|---|---|
| 小学校1年 第1期 小学校1年 第2期 小学校1年 第3期 小学校1年 第4期 | | | | | | | | | | | | |
| ねらい | ・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。 | ・小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共にし、意欲的に活動や学習に取り組む。 | ・たくさんの友達との関わりの中で、相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に活動や学習に取り組む。 | ・自分や友達の成長に気付き、お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。 | | | | | | | | |
| 知識及び技能の基礎 | ・楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど）のよさを実感し、進んで実践しようとする。（アイウオ） ・友達と一緒に何かよく運動や遊びに取り組み、身体を動かす気持ちよさや楽しさを味わう。（アイウ） ・新しい学習に興味をもち、教科書や鉛筆などの正しい使い方、姿勢などの学習の約束を進んで生かそうとする。（イエ） ・気付いたことや思ったことを進んで話し、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことに注意して聞こうとする。（イケ） ・本に興味をもって読み聞かせを聞いたり、学級文庫などから読みたい本を見付けて読もうとする。（オコ） | ・生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やマナーを守って行動したりしようとする。（アイエオ） ・学校や通学路、公園などで安全に生活するために大切なことに気付き、守って行動しようとする。（エオ） ・聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちなどの反応をしながら聞いたりする。（エウケ） ・言葉遊びに親しみ、語のまとめや言葉の響きを感じながら音読する。（ケコ） ・植物の栽培や観察などを通して、自然の不思議さや面白さに気付いている。（カキ） | ・体を動かして遊んだり、食事や手洗い、うがい、汗の始末をしたりなど、健康な生活について考え、進んで実践しようとする。（アイ） ・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにする。（クコ） ・植物や虫などが生命をもっていることや成長していること、生命をつないでいることに気付いている。（カキ） ・秋や冬になるといつも同じ現象が起こるなど、自然に一定のまりがあることに気付いている。（カキ） ・図書館の使い方やマナーを守って読みたい本を選び、読書に親しむ。（オコ） | ・学習の見通しをもって、積極的に友達の話を聞き、質問や感想を述べようとする。（イケ） ・1年生の初めに書いた文字や絵などと今を比べ、自分の成長に気付く。（オオ） ・自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付く。（アイオ） ・言葉には意味による語句のまとめがあることに気付き、語彙を豊かにする。（クコ） ・冬の遊びや伝統行事への参加を通して、季節に合わせて自然や生活の様子が変化していくことに気付く。（オキ） | | | | | | | | |
| 身に付ける資質・能力の基礎 | ・気付いたことや思ったこと、想像したことなどを友達とやり取りする楽しさを味わう。（カケコ） ・身近なことや経験したことなどから伝えたいことを選び、絵や言葉で表現する。（カクケコ） ・身近な場所の春の様子を観察して季節の変化に気付き、友達と伝え合ったり遊びや生活に取り入れたりする。（カキ） ・学校探検で見付けたことや分かったことを自分の生活との関わりで捉え、友達と伝え合う。（カケコ） ・身の回りの事象や具体物と関連させながら、ひらがなや数量、形などを実感として捉える。（カク） | ・経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、よりよい方法を考える。（ウカケ） ・伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選ぶ。（カケコ） ・夏の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで試したり工夫したりして遊びを創り出す。（カケコ） ・身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現したり、生活に生かしたりする。（カキクケコ） ・身の回りにある数やものの順序、長さなどの比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現する。（カクケ） | ・話したいことの順序に気を付けながら分かりやすく伝えたり、理由を付けて説明したりする。（カケ） ・友達の話を聞いて、質問したり感想を伝えたり、相手の発言を受けて話をつないだりしている。（カケ） ・学習や生活を見直し、さらに楽しくするために工夫できることや新しい約束などを考え話し合う。（イウエケ） ・既習を活用したり、ペアやグループで相談したりして、よりよい考え方を見付ける。（ウカケ） ・木の実など秋の自然を生かし、作りたいものに合った材料を選んだり遊び方を考えたりして作る。（カキケ） ・ものを種類ごとに分類整理したり10のまとめを作ったりして、簡単な絵や図を用いて表す。（カク） | ・これまでの学習や経験を生かし、事柄の順序に沿って構成を考えて1年間の思い出を書く。（ケコ） ・雪や氷の特徴を生かした遊びを何度も繰り返し、友達と遊びを発展させる。（ウカキ） ・入学した頃の自分と今の自分を比較して、自分ができるようになったことを探したり、実際にやってみたりする。（イオカ） ・数量の関係に着目して、図を用いて問題の解決方法を考え自分や友達の考え方を用いて説明する。（カクケ） ・新しい1年生に学校のことを分かりやすく伝えるために、方法を工夫する。（ウオカケコ） | | | | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性等 | ・新しく出会う先生や友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じる。（イウオ） ・相手や場に応じたあいさつや言葉遣い、表情や姿勢などを考えて、進んで関わろうとする。（イオケ） ・相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、気持ちを調整しながら楽しく生活しようとする。（ウオ） ・自分でできることや当番、係の仕事を、友達と協力し合いながら、進んでしようとする。（アイウ） | ・学級をより楽しくするために係の仕事を見直すなど、学級の生活を自分たちで工夫しようとする。（イウオ） ・目標に向かって自分の力を発揮したり、友達や上級生と助け合って取り組んだりすることを通して、お互いのよさを理解し連帯感や所属感を深める。（アイウ） ・身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、親しみをもって関わり、命を大切にしようとする。（エキ） ・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深めるとともに、感謝の気持ちを感じながら自分ができることをしようとする。（イオ） | ・友達のよいところを見付け、お互いのよさを認め合う大切さに気付き、温かい学級をつくろうとする。（イウオ） ・友達や家族に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じながら自分の役割を果たそうとしている。（イオ） ・喜んでもらえる活動や場に適した話し方や接し方を考えて、高齢者や年長児との交流を楽しむ。（イエ） ・学習や生活の過程や結果を振り返り、よさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。（ウオ） | ・自分のよさや友達のよさに気付き、互いに認め合い、これからも自分の得意なことを生かしながら役割を果たしていくこうとする。（アイウ） ・郷土の文化や習慣、他国の言葉や文化などに触れ、慣れ親しむ。（オ） ・1年間の学習や生活を振り返り、周囲の人々に支えられて成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとしている。（アイオ） ・「6年生を送る会」や卒業式の準備や練習を通して、6年生に感謝の気持ちをもつ。（オ） | | | | | | | | |
| ★★行交 廟子事務員と・活 交モF動 流交C 流 | 始業式 入学式 1年生を迎える会 給食開始 学校探検 PTA授業参観・懇親会 交通安全教室・下校指導 縦割り清掃班スタート集会 ★就学前施設職員授業参観・情報交換会 ★就学支援ファイル活用 | 運動会 家庭訪問 避難訓練 ★幼保小連携推進会議 ことばとまなびの小テスト ★幼保小担任研修会 PTA授業参観・個人面談 終業式 夏休み ★市夏季研修会 ★保育体験 ★就学前施設職員授業参観・情報交換会 | 始業式 秋の遠足 学習発表会 ☆プール遊び交流 読書週間 ★小学校市教研総合研への参加 幼保小中連携メディアコントロール週間 運動会 家庭訪問 避難訓練 ★幼保小担任研修会 PTA授業参観・個人面談 終業式 夏休み ★市夏季研修会 ★保育体験 | 施設訪問 就学時健診 ★1年生との交流 冬休み 始業式 秋の遠足 学習発表会 ☆プール遊び交流 読書週間 ★小学校市教研総合研への参加 幼保小中連携メディアコントロール週間 運動会 家庭訪問 避難訓練 ★幼保小担任研修会 PTA授業参観・個人面談 終業式 夏休み ★市夏季研修会 ★保育体験 | 始業式 避難訓練 スキー教室 ★教職員研究実践発表会 節分 ☆体験入学 6年生を送る会 卒業式 修了式 ★情報交換会 ★要録・個別の教育・保育支援計画の活用 | | | | | | | |
| ○☆環 境助 の構 成イ ント | ☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心でできる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち、落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり、弹力的に時間割を工夫したりする。 | ☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようになる。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付くようにする。 | ☆ 学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようになる。 ☆ 縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようになる。 ○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようになる。 | ☆ 体験入学では新1年生が入学を楽しみにするような活動を工夫でいるようとする。 ☆ 「ありがとうカード」や「いいねカード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。 ☆ 各教科を通して、1年間の成長を認め、2年生の学習や生活への意欲を高める。 ○ 1年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを揭示する。 | | | | | | | | |
| 家庭との連携 | ・学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。 | ・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になるとすることを具体的に伝える。 ・規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。 | ・2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・生活科「かぞくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 ・子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえるようにする。 | ・子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。 ・自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらうようにする。 ・生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合ったり確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。 | | | | | | | | |

大館市 架け橋充実期のカリキュラム全体計画（5歳10月～1年生7月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来ようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】 気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

【学びに向かう力・人間性等】 できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体

イ：自立心

ウ：協同性

エ：道徳性・規範意識の芽生え

オ：社会生活との関わり

カ：思考力の芽生え

キ：自然との関わり・生命尊重

ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

ケ：言葉による伝え合い

コ：豊かな感性と表現

| 月 期 | 10 5歳児 第3期 | 11 5歳児 第4期 | 12 3 | 4 小学校1年 第1期 | 5 小学校1年 第2期 | 6 | 7 |
|--|---|--|--|--|--|-----------------|---|
| ね ら い | ・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。 | ・自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。 | | ・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。 | ・小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。 | | |
| 知 識 及 び 技 能 の 基 礎 | ア：健康に関心をもち、 <u>生活リズム</u> を整えたり、 <u>身の回り</u> を整理、 <u>整頓</u> したりする。 ア：収穫した野菜などを友達と一緒に食べたり、遊びに取り入れたりして、 <u>食べ物への関心</u> を高める。 オ：地域の公共施設や小学校などを訪れ、 <u>場所や状況に応じた約束</u> を守ろうとする。 キ：紅葉や落ち葉、冬芽、虫などの様子から、 <u>季節の変化</u> や <u>不思議さ</u> を感じたり、 <u>生命のサイクル</u> に気付いたりする。 ク： <u>文字や数字、図形、標識などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。</u> | ア：園生活の見通しをもち、 <u>時間を意識しながら、気持ちを切り替えて行動</u> する。 ア：手洗い、うがい、好き嫌いを減らすなど、 <u>健康な生活のために必要なことを進んで行う</u> 。 オ：正月、節分、アメックス市、ひな祭りなどの <u>伝統文化を体験し、地域への親しみをもって遊びに再現</u> する。 ク：友達と一緒に縄跳びやコマ回しの回数を競ったりかるたやトランプなどの枚数を数えて記録したりして遊び、 <u>数字や表の便利さに気付く</u> 。 | | ア：楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど）のよさを実感し、進んで実践しようとする。（アイウオ） ・友達と一緒によく運動や遊びに取り組み、 <u>身体を動かす気持ちよさや楽しさ</u> を味わう。（アイウ） ・新しい学習に興味をもち、教科書や鉛筆などの正しい使い方や姿勢などの <u>学習の約束を進んで生かそうとする</u> 。（イエ） ・気付いたことや思ったことを進んで話し、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことに注意して聞こうとする。（イケ） ・本に興味をもって読み聞かせを聞いたり、学級文庫などから <u>読みたい本を見付けて読もうとする</u> 。（オコ） | ・生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やマナーを守って行動したりしようとする。（アイウオ） ・学校や通学路、公園などで安全に生活するために大切なことに気付き、守って行動しようとする。（アエオ） ・ <u>聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちなどの反応をしながら聞いたりする</u> 。（ウエケ） ・言葉遊びに親しみ、語のまとまりや言葉の響きを感じながら音読する。（クケコ） ・植物の栽培や観察などを通して、 <u>自然の不思議さや面白さ</u> に気付いている。（カギ） | | |
| 思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力 の 基 礎 | カ：遊びに必要な物の <u>イメージを友達と共有しながら、素材や用具の特性を生かして製作し、遊び方を工夫</u> する。 キ：身近な自然や偶然出会った <u>自然の変化</u> に 관심をもち、 <u>言葉で表現したり、調べたり試したりして遊びを楽しむ</u> 。 ク：空き箱や紙などの形や大きさ、長さなどを捉え、 <u>組み合わせを考えながら作り上げることを楽しむ</u> 。 ケ：遊びを振り返って <u>楽しかったことや困ったこと、明日やりたいことなどを言葉で伝え合う</u> 。 コ：絵本や物語などのお話を世界を豊かに想像し、 <u>イメージを広げて遊びに取り入れたり、言葉の楽しさや美しさに気付く、言葉を豊かにする</u> 。 | カ：友達と一緒に遊びながら、 <u>共通の目的をもってアイディアを出し合い、試行錯誤する過程を楽しむ</u> 。 キ：気温などの条件により雪質や氷のでき方が違うことなどから、 <u>自然現象への関心を高め、試して遊び楽しを味わう</u> 。 ク：文字には人に思いを伝える役割があることに気付き、 <u>手紙などで伝えることを楽しむ</u> 。 ケ：園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した <u>思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう</u> 。 コ：みんなで <u>気持ちを合わせて表現したり聞き合ったりして、響き合を楽しむ</u> 。 | | ・気付いたことや思ったこと、想像したことなどを <u>友達とやり取りする楽しさ</u> を味わう。（カケコ） ・身近なことや経験したことなどから <u>伝えたいことを選び、絵や言葉で表現</u> する。（カクケコ） ・身近な場所の春の様子を観察して <u>季節の変化に気付き、友達と伝え合ったり遊びや生活に取り入れたりする</u> 。（カギ） ・学校探検で見付けたことや分かったことを自分の <u>生活との関わりで捉え、友達と伝え合う</u> 。（カケコ） ・身の回りの事象や具体物と関連させながら、 <u>ひらがなや数量、形などを実感として捉える</u> 。（カク） | ・経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、よりよい方法を考える。（ウカケ） ・ <u>伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選ぶ</u> 。（カケコ） ・夏の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで <u>試したり工夫したりして遊びを創り出す</u> 。（カケコ） ・身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、 <u>感じたことや想像したこと</u> を文章や絵、歌や身体の動きなどで表現したり、生活に生かしたりする。（カキクケコ） ・身の回りにある数やものの順序、長さなどの <u>比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現</u> する。（カクケ） | | |
| 学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 等 | イ：当番の仕事など、 <u>自分がしなければならないことを自覚し、忘れずにやろうとする</u> 。 ウ：劇遊びなどで、友達のよさを認め合いながら <u>役割を分担したり力を合わせたりして遊びを創り上げることを楽しむ</u> 。 エ：自分の思いを友達に伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、 <u>折り合いをつけて遊ぼうとする</u> 。 オ：地域の方々や <u>異年齢児、小学生など</u> 、様々な関わりの中で、 <u>相手や場面に応じて話したり接したりしようとする</u> 。 | イ：園生活やクラスの <u>自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう</u> 。 ウ：困った時には、友達や先生に自分から話したり、お願いしたいことを伝えたりして、 <u>自分たちで解決しようとする</u> 。 エ：楽しく生活するためにきまりを守ったり、新たにつくったり、 <u>必要に応じてつくり替えたりしようとする</u> 。 オ：園生活を振り返り、 <u>自分の成長や自分が大切にされていることに気付き、周りの人たちへの感謝の気持ちをもつ</u> 。 | | ・新しく会う先生や友達と <u>進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じる</u> 。（イウオ） ・ <u>相手や場に応じたあいさつや言葉遣い、表情や姿勢などを考えて、進んで関わろうとする</u> 。（イオケ） ・相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、 <u>気持ちを調整しながら楽しく生活しようとする</u> 。（ウオ） ・自分でできることや <u>当番、係の仕事を、友達と協力し合いながら、進んでしようとする</u> 。（アイウ） | ・学級をより楽しくするために <u>係の仕事を見直すなど、学級の生活を自分たちで工夫しようとする</u> 。（イワオ） ・目標に向かって自分の力を發揮したり、友達や上級生と助け合って取り組んだりすることを通して、 <u>お互いのよさを理解し連帯感や所属感を深める</u> 。（アイウ） ・身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、 <u>親しみをもって関わり、命を大切にしようとする</u> 。（アエキ） ・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と <u>関わることを楽しみ、地域への親しみを深めるとともに、感謝の気持ちを感じながら自分ができるとしようとする</u> 。（イオ） | | |
| ★☆行交 贈子事務 員・活動 交流C 流 | 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 運動会 ★1年生との交流 ★小学校市教研総合研への参加 就学時健診 ★就学支援委員会 ★幼保小中連携メディアコントロール週間 | ☆かるた大会 ☆まめまき アメックス市 ★教職員研究 実践発表会 ★体験入学 | ☆ひなまつり ★情報交換会 卒園式 お別れ会 ★要録・個別の教育 ・保育支援計画の送付 | 始業式 入学式 給食開始 1年生を迎える会 学校探検 PTA授業参観・懇談会 交通安全教室・下校指導 縦割り清掃班スタート集会 ★就学前施設職員授業参観 ・情報交換会 ★就学支援ファイル活用 | 運動会 家庭訪問 避難訓練 ★幼保小連携推進会議 ことばとまなびの 小テスト 終業式 ★市夏季研修会 ★保育体験 | P T A 授業参観・個人面談 | |
| ○☆ 環 境 助 の 構 成 イ ン ト | ☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を發揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるよう言葉掛けをする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。 | ☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進めの姿を認め、満足感をもてるようにする。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつたりできるような環境を工夫する。 | ☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち、落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活を中心とした関連的な指導を行ったり、弾力的に時間割を工夫したりする。 | ☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。 | | | |
| 家庭 と の 連 携 | ・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けてほしい習慣や力について話題にしていく。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりと一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 | ・卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。 ・就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるよう協力ををお願いする。 | ・学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めてもらえるようにする。 | ・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・学校行事や学年の活動、P T A活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。 | | | |

大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】 気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

【学びに向かう力・人間性等】 できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体 イ：自立心 ウ：協同性 エ：道徳性・規範意識の芽生え

オ：社会生活との関わり ハ：思考力の芽生え

キ：自然との関わり・生命尊重 ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

ケ：言葉による伝え合い ニ：豊かな感性と表現

| 月 期 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|------------------|---|---|---|---|----------------|--|--|---|-----------------------|---|--|---|
| 5歳児 第1期 | | | | | | | | | | | | |
| ねらい | ・年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に發揮しながら安心して生活する。 | ・友達と思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。 | ・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。 | ・自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。 | | | | | | | | |
| 知識及び技能の基礎 | ア：体を動かす楽しさや心地よさを感じ、いろいろな運動遊びに進んで取り組む。 ア：災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、合図や指示に従つて行動しようとする。 キ：砂遊びや泥遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの違いに気付く。 ク：縄跳びやフラフープなどの回数を数えるなど、遊びの中で必要感をもって数えることを通して数を実感する。 | ア：縄跳びや鉄棒などの遊びに応じた体を動かすコツをつかみ、土分に体を動かして遊ぶ。 オ：絵本や図鑑、身近なちらしなどから情報を取り入れ、遊びがより本物に近づいていくことを楽しむ。 キ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く。 ク：文字や数字、図形、標識などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 | ア：健康に関心をもち、生活リズムを整えたり、身の回りを整理、整頓したりする。 ア：収穫した野菜などを友達と一緒に食べたり、遊びに取り入れたりして、食べ物への関心を高める。 オ：地域の公共施設や小学校などを訪れ、場所や状況に応じた約束を知り、守ろうとする。 キ：紅葉や落ち葉、冬芽、虫などの様子から、季節の変化や不思議を感じたり、生命のサイクルに気付いたりする。 | ア：園生活の見通しをもち、時間を意識しながら、気持ちを切り替えて行動する。 ア：手洗い、うがい、好き嫌いを減らすなど、健康な生活のために必要なことを進んで行う。 オ：正月、節分、アメック市、ひな祭りなどの伝統文化を体験し、地域への親しみをもって遊びに再現する。 ク：友達と一緒に縄跳びやコマ回しの回数を競ったりかるたやトランプなどの枚数を数えて記録したりして遊び、数字や表の便利さに気付く。 | | | | | | | | |
| 育みたい資質・能力 | カ：リレー遊びやドッヂボールなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合って工夫する。 キ：園庭の草花や野菜、虫などについて、名前や世話の仕方などに興味をもって調べ、命あるものを大切にしようとする。 ク：遊びや生活の中で、物の準備や後片付けをしながら、数える、比べる、形を工夫するなどを意識する。 ケ：絵本や物語に親しみ、気付いたことや感想、想像したことを見たと伝え合うことを楽しむ。 コ：体験したことや考えたことを、いろいろな素材や用具を使って自分なりに表現することを楽しむ。 | カ：遊びの目的に沿って時間をうまく使ったり、場所や道具を選んだりして、自分たちで遊びを進める。 キ：身近な自然や偶然出会った自然の変化に关心をもち、言葉で表現したり、調べたり試したりして遊ぶことを楽しむ。 ク：収穫した野菜の数を数えたり、大きさや重さを比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ケ：ごっこ遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 コ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現する。 | カ：遊びに必要な物のイメージを友達と共有しながら、素材や用具の特性を生かして製作し、遊び方を工夫する。 ク：空き箱や紙などの形や大きさ、長さなどを捉え、組み合わせを考えながら作り上げることを楽しむ。 ケ：遊びを振り返って楽しかったことや困ったこと、明日やりたいことなどを言葉で伝え合う。 コ：絵本や物語などのお話を豊かに想像し、イメージを広げて遊びに取り入れたり、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする。 | カ：友達と一緒に遊びながら、共通の目的をもってアイディアを出し合い、試行錯誤する過程を楽しむ。 キ：気温などの条件により雪質や氷のでき方が違うことなどから、自然現象への関心を高め、試して遊び楽しさを味わう。 ク：文字には人に思いを伝える役割があることに気付き、手紙などで伝えることを楽しむ。 ケ：園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう。 コ：みんなで気持ちを合わせて表現したり聴き合ったりして、響き合いを楽しむ。 | | | | | | | | |
| 学びに向かう力・人間性 | イ：縄跳びや鉄棒などで、自分の目標を立ててあきらめないで挑戦しようとする。 ウ：ルールのある遊びの中で、友達と一緒に協力して遊ぶ。 エ：すすんで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを心こめて伝える。 オ：母の日や父の日などを通して家族の大切さに気付き大切にしようとすると。 | イ：体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 ウ：友達と一緒に思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりする。 エ：トラブルを通して、思い通りにいかない葛藤を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返し、相手の思いに気付かない仲間としてのつながりを深める。 オ：高齢者や身近な人々との関わりを通して、親しみをもち関わる楽しさを感じる。 | イ：当番の仕事など、自分がしなければならないことを自覚し、忘れずにやろうとする。 ウ：劇遊びなどで、友達のよさを認め合いながら役割を分担したり力を合わせたりして遊びを創り上げることを楽しむ。 エ：自分の思いを友達に伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、折り合いをつけて遊ぼうとする。 オ：地域の方々や異年齢児、小学生など、様々な関わりの中で、相手や場面に応じて話したり接したりしようとする。 | イ：園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。 ウ：困った時には、友達や先生に自分から話したり、お願いしたいことを伝えたりして、自分たちで解決しようとする。 エ：楽しく生活するためにきまりを守ったり、新たにつくったり、必要に応じてつくり替えたりしようとする。 オ：園生活を振り返り、自分の成長や自分が大切にされていることに気付き、周りの人たちへの感謝の気持ちをもつ。 | | | | | | | | |
| ★☆行交職事交流員と活動交流C流 | 入園式 進級の会 参観日 ★小学校1年生の授業参観・情報交換会 | 避難訓練 運動会 交通安全教室 参観日 ★幼保小連携推進会議 ★幼保小担任研修会 | 七夕会 参観日 ★幼保小連携推進会議 ★幼保小担任研修会 | ☆プール遊び交流 ★市夏季研修会 ★保育体験 ★生涯学習フェスティバル展示 | お泊まり保育 お月見会 | 秋の遠足 運動会 ★小学校市教研総合研への参加 ★幼保小中連携メディアコントロール週間 | 発表会・お楽しみ会 ★1年生との交流 就学時健診 ★就学支援委員会 | クリスマス会 ★1年生との交流 就学時健診 ★就学支援委員会 | ☆かるた大会 ★教職員研究実践発表会 | ☆まめまき アメック市 卒園式 ★情報交換会 お別れ会 ☆体験入学 ★要録・個別の教育・保育支援計画の送付 | ひなまつり 卒園式 お別れ会 ★情報交換会 卒園式 お別れ会 ★要録・個別の教育・保育支援計画の送付 | |
| ○☆環境助の構成ポイント | ☆ 目標をもって意欲的に取り組む姿を認め励まし、自信をもって自分らしさを発揮できるようにする。 ○ 1日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようとする。 ○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、場所や時間、素材や道具などを十分に用意し、遊びを保障する。 | ☆ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ☆ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。 | ☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるよう言葉掛けをする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。 | ☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようになる。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつたりできるような環境を工夫する。 | | | | | | | | |
| 家庭との連携 | ・子どもの発育のことや家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。 ・年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、ともに成長を喜び合えるようとする。 ・年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。 | ・遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんな経験をさせたいか」、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。 ・遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。 | ・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりと一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 | ・卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるよう励ましや言葉掛けをお願いする。 ・就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるよう協力ををお願いする。 | | | | | | | | |

城西小学校区 架け橋充実期のカリキュラム全体計画（5歳10月～1年生7月）

架け橋期に期待する子どもの姿

大館市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

城西小学校 豊かな体験を通して、学ぶ喜びや楽しさを実感し、仲間と幸せを分かち合う子ども



大館ホテヤこども園・宮の杜神明こども園

大館市立城西小学校



| 月 期 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | | | | |
|--|--|--|----|--|--|---|--|---|-----------|---|---|--|--|--|--|--|
| ね ら 重 い点 小 学 校 区 で 目 指 す 子 ど も の 姿 知 識 及 び 基 本 能 力 表 現 判 断 の 力 基 本 能 力 学 び 人 間 性 等 ま た は じ め に 向 か う か | 5歳児 第3期 | | | 5歳児 第4期 | | | 小学校1年 第1期 | | | 小学校1年 第2期 | | | | | | |
| | ・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。 | | | ・自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。 | | | ・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。 | | | ・小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、目的や学ぶ楽しさを友達と共有し、自信をもって活動する。 | | | | | | |
| | 知識及び基礎能 | ♥自分がしたことや思ったことを話そうとし、相手の話を聞こうとする。 | | | ♥思ったことや考えたことを相手に分かるように話すとともに相手の話を興味をもって聞く。 | | | ・学校生活に必要な約束やルール、マナーに気付き、身の回りのことを自分でやろうとする。 | | | ・学校生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やルールを守って行動したりする。 | | | | | |
| | | ・文字や数字、图形、標識などに興味をもち、遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 | | | ・文字や数量、表などを遊びや生活に進んで取り入れ、その役割や便利さに気付く。 | | | ・新しい学習に興味をもち、学習の約束を進んで生かしながら意欲をもって取り組む。 | | | ・学校や通学路、公園などで安全に生活するために気を付けることに気付く、守って行動しようとする。 | | | | | |
| | 表現判断の力基礎能 | ・物の性質や素材の特性に気付いて選択したり、予想して試してみたりする。 | | | ・様々な人との関わりの中で刺激を受けながら自分の見方や考え方を広げる。 | | | ♥学級の友達と一緒に活動する楽しさや様々な考えに触れる喜びを味わう。 | | | ・経験したことや身に付けたことを活用したり友達の見方や考え方を取り入れたりしながら課題を解決する。 | | | | | |
| | | ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れたりする。 | | | ・身近な事象と関わる中で、変化や仕組み、法則性などに気付き、調べたり確かめたり工夫したりの試行錯誤を楽しむ。 | | | ♥学び合いの約束を生かして自分の思いを表現したり友達と伝え合ったりする。 | | | ♥自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝えようとする。 | | | | | |
| | 学びに向かう力 | ・考え方を伝え合ったり相談したりしてイメージや目的を共有し、遊びや生活をつくる。 | | | ♥友達のよさや一緒に遊ぶ楽しさを感じながら共通の願いや目的を実現させる喜びを味わう。 | | | ・新しく出会う先生や友達と一緒に活動する楽しさを感じながら進んで関わろうとする。 | | | ♥友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し、連帯感や所属感を深める。 | | | | | |
| | | ♥遊びや生活を進めながら友達と協力し合い、仲間意識を高める。 | | | ・園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。 | | | ・相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして楽しく生活しようとする。 | | | ・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。 | | | | | |
| 言葉で伝え合う力 共通して充実を目指す活動・体験 共感・協働する力 | みんなに伝えよう | | | | | みんなと伝え合おう | | | | | | | | | | |
| | <朝の会・帰りの会> ・今日うれしかったこと頑張ったこと、明日頑張りたいこと、教えてもらいたいことなどを発表する。 ・友達の話を静かに聞いたり、認めたりする。 | | | | | <かがやきタイム> ・自分の頑張りや友達のよさを発表する。 ・入学への期待を伝え合う。 | | | | | | | | | | |
| | みんなでやりとげよう | | | なかよく遊ぼう | | 感謝を伝えよう | | | みんなと伝え合おう | | | | | | | |
| | <運動会・おゆうぎ会> ・運動会やおゆうぎ会の内容や役割分担を話し合う。 ・困っている友達にアドバイスしたり、教え合ったりする。 ・頑張ったことやもっとよくしたいこと等を振り返り発表し合う。 ・おゆうぎ会で使う物を友達と協力して制作したり準備したりする。 ・同じ目的・目標に向かい、仲間意識を高め、充実感を味わう。 ・友達の考えを受け入れたり折り合いで付けたりする。 ・友達のよさを認め合う。 ・友達と協力して工夫し成功させる。 | | | <当番活動> ・順番や道具・用具を確認する。 ・給食の盛り付けをする。(園児が食べたい量を自分で伝えようとする) ・みんなの役に立つ喜びを味わう。 ・協力して活動する。 | | <制作・自由遊び> ・作りたいもののイメージを伝え合ったり、遊び方やルールを教えて合ったりする。 ・役割分担の話合いをする。 ・友達と一緒にイメージを共有し、相談しながら一緒に遊ぶ。 ・作ったものを見せ合って、共感したり認めたりする。 | | <ルールのある遊び> ・チーム分けや作戦を話し合う。 ・友達に教えたり応援したりする。 ・ルールを守って仲よく遊ぶ。 ・友達と意見が違っても気持ちに折り合いを付けて遊ぶ。 ・友達に対し、喜んだり悔しかったりする一体感を味わう。 ・一つのことを成し遂げると充実感を味わう。 | | <くわんけいわん式> ・園生活を振り返り、思い出を伝え合う。 ・どんな会にすれば、喜んでもらえるか話し合う。 ・感謝の気持ちを表す言葉や歌を話し合って決める。 ・お世話になった先生や友達・異年齢児へのプレゼントを考え、工夫して製作する。 ・同じ目的・同じ目標に向かい協力し合いながら取り組む楽しさや達成感を感じる。 ・すすんで友達に教えてあげたり励ましたりする。 | | <どうぞよろしく> ・自己紹介カードを使って友達と交流する。(国語「どうぞよろしく」) ・探検して見付けたことを友達に絵や言葉で伝える。 ・学校生活で必要な場所や安全に気を付ける場所に気付く。(生活「学校たんけんしよう」) ・安全に登下校するためのルールやマナーを知る。(生活「みんなでつうがくろをあるこう」) ・友達と仲よく助け合って勉強したり遊んだりしようとする。(道徳「なかよくな」) | | | | |
| | <豆まき> ☆1年生との交流 | | | | | <豆まき> ☆お別れ会 卒園式 | | | | | | | | | | |
| | <クリスマス会> | | | | | <豆まき> PTA授業参観・懇談会 縦割り清掃班スタート集会 | | | | | | | | | | |
| | <豆まき> ☆1年生との交流 | | | | | <豆まき> 入学式 1年生を迎える会 学校探検 給食開始 運動会 地域訪問 | | | | | | | | | | |
| | <豆まき> ☆1年生との交流 | | | | | <豆まき> 就学前施設職員授業参観・懇談会 交通安全教室・下校指導 | | | | | | | | | | |
| | <豆まき> ☆1年生との交流 | | | | | <豆まき> 就学前施設職員授業参観・懇談会 交通安全教室・下校指導 | | | | | | | | | | |
| | <豆まき> ☆1年生との交流 | | | | | <豆まき> 就学前施設職員授業参観・懇談会 交通安全教室・下校指導 | | | | | | | | | | |
| 行事・FC★こどもの交流 | 就学時健診 運動会 ハロウィン | | | クリスマス会 | | | 豆まき ☆体験入学 | | | ひなまつり お別れ会 卒園式 | | | | | | |
| | ☆1年生との交流 | | | ☆1年生との交流 | | | ☆1年生との交流 | | | ☆1年生との交流 | | | | | | |
| 職員の交流他 | 小学校市教研総合研への参加 | | | 保育参観 | | | 教職員研究実践発表会 情報交換会 要録・個別の支援計画送付 | | | 就学前施設職員授業参観・懇談会 | | | | | | |
| | ☆共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を發揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。 | | | ○一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 | | | ☆今までの経験を生かして、心と体を十分に動かさせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 | | | ☆入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 | | | | | | |
| ○☆環境助成の構成ポイント | ○四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。 | | | ○卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつたりできるような環境を工夫する。 | | | ☆子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 | | | ☆幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 | | | | | | |
| | ・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けてほしい習慣や力について話題にしていく。 | | | ・卒園式、入学式までの予定を示し、見通しをもって準備できるように支援する。 | | | ・学校の方針、1年生の目標をもつ姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 | | | ☆具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれとの気付きを共鳴させるようにする。 | | | | | | |
| 家庭との連携 | ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりと一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 | | | ・子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるよう励ましや言葉掛けをお願いする。 | | | ・1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 | | | ☆運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 | | | | | | |
| | ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりと一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 | | | ・就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送れるように協力ををお願いする。 | | | ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようになるとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。 | | | ○登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。 | | | | | | |

釧路内小学校区 架け橋充実期のカリキュラム全体計画（5歳10月～1年生7月）

架け橋期の目指す子ども像

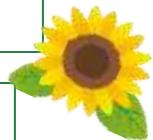
| | |
|-------|--|
| 前向きな心 | 大館市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども |
| 美しい心 | 夢や目標をもち進んで学ぶ子ども（ドリームグリーン） |
| 挑戦の心 | 自分も友達も大切にし協力し合う子ども（ピューティフルブルー） |

釧路内小学校区

| |
|--------------------------------------|
| あきらめずに挑戦し、やりとげる子ども（チャレンジレッド）（チアイエロー） |
|--------------------------------------|



向陽こども園・釧路内保育園



大館市立釧路内小学校

| 月 期 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|---|--|----------------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | | | 5歳児 第3期 | 5歳児 第4期 | 1年生 第1期 | | 1年生 第2期 | | | | | | | | | | |
| ね ら い | ・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。 | ・自分や友達のよが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。 | ・小学生の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。 | ・小学生の生活や学習に見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 小 学 校 区 で 目 指 す 子 ど も の 姿 | ・他園の年長児や1年生との交流を通して、体験したことや思いを保育者や友達とやり取りしながら遊びを広げる楽しさを味わう。 ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れたりする。 | ・遊びや生活の中で、必要な材料や道具を選んだり文字や数字等を取り入れたりしながら、思いやイメージを友達と伝え合うことを楽しむ。 ・冬の自然に触れ、季節の変化や不思議さに気付いたり、気付いたことを遊びに取り入れたりする。 | ・学校探検や春探しなどから、伝えたいことを選んだり、伝え方を工夫したりする。 ・自分のよいところや夢、できるようになりたいこと等、絵や言葉で表したり、友達と伝え合ったりする。 | ・あさがおやひまわりの成長に見通しをもち、成長の様子や開花への期待を、言葉や絵、動作等の方法を選んで伝え合う。 | ・ひまわりの種を袋に詰める活動で、種の数え方を工夫したり、地域の人々に喜んでもらえるような絵を考えてかいだりする。 | | | | | | | | | | | | | |
| 上 級 生 へ 向 か う 性 子 ど も | ・遊びの中で友達の思いに気付いたり、自分の思いを伝えたりしながら共通の目的に向かって協力し合う楽しさを味わう。 ・ゆうぎ会・おたのしみ会に向けて、友達とアイディアを出し合ったり励まし合って練習したりしながら、一つのことに向かう充実感を味わう。 | ・遊びや生活の中で、嬉しかったことや悲しかったこと、できるようになったことなどを友達と伝え合って共有したり、共感し合ったりする。 | ・卒園に向けて、卒園式の歌やお別れの言葉等を友達と話し合い、役割を分担したり協力し合ったりしながら創り上げることを楽しむ。 | ・新しく出会う友達や教師と進んで関わり、一緒に活動する楽しさや喜びを感じる。 ・楽しく学習や生活をするために大切なこと（返事や挨拶、約束やマナー、言葉遣いなど）に気付き、進んで実践しようとするとする。 | ・上級生や学校を支えている方々、地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。 ・聞き手を見て話したり、話し手と共に感して相づちなどの反応をしながら最後まで話を聞いたりする。 | | | | | | | | | | | | | |
| 下 級 生 へ 向 か う 性 子 ど も | ・当番活動などで、自分たちにできることを見付け、生活や遊びを自分たちで進めていく楽しさや充実感を味わう。 ・縄跳びや運動遊び等で、自分の目標を立て、できるまで挑戦することの楽しさや達成感を味わう。 | ・生活や遊びに見通しをもち、使う物を進んで準備したり整えたり、片付けたりする。 ・園生活や年長組での生活を振り返って、自分や友達の成長に気付き、自身をもって小学校に進もうとする。 | ・学校生活に見通しをもって、自分でできることは自分でしようとしたり、学習の準備を意欲的に行ったりする。 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守りながら誰とでも仲よく運動をする。 | ・楽しい学級にするために、自分にできる仕事を考えたり話したりして決め、進んで役割を果たそうとする。 | ・学習や生活、行事等の中で、自分の目標を見付けて粘り強く取り組む。 | | | | | | | | | | | | | |
| 共 通 し て 充 実 を 目 指 す 活 動 ・ 体 験 | ★＜アイデアを出し合って遊ぶ＞（オカキケ） ・秋の自然物（どんぐり、松ぼっくり、栗、どらの実、小枝など）を工夫したり考えたりしながら遊びに取り入れて友達とごっこ遊びを楽しむ。 ・お店屋さんごっこ、お寿司屋さんごっこ等、友達とイメージを共有するために話し合ったり考えたりして遊びを進める。 | ★＜さくらタイム＞（年長）遊びや活動を振り返り、明日の遊びにつなげる。 ★＜伝承遊び＞（ウォーカク） ・かるた、すごろく、コマ回し、トランプ等のルールを理解しながら友達と正月遊びを楽しむ。 | ★＜本に親しむ＞（カクコ） ・園の本や小学校の図書館の本を読んだり読んでもらったりして、文字や言葉、お話に興味をもち、遊びに取り入れる。 | ★＜がっこうだいすき＞（生活）（アイウエオカクケコ） ・友達や先生と自己紹介し合ったり、学校探検をして見付けたものを友達と伝え合う。国語「どうぞろしく」 ・自己紹介カードに名前を書く。「なんていおうかな」 ・場面に応じた言葉や動作を考える。「こんなもの つけたよ」 ・学校探検で見付けたものを友達と伝え合う。国工「すきなもの いっぱい」 ・好きなものや見付けたものを絵に表す。道徳「どうしてこうなるのかな」 ・楽しく生活するためのルールやマナーを考える。 | ★＜なりたい自分に向かって＞（学活）（アイウオカク） ・自分の好きなことや得意なこと、できるようになりたいこと、夢などを考え、キャリアノートに書いて友達と伝え合う。道徳「みんなじょうず」 ・自分のよいところを見付ける。 | ★＜きれいにさいてね＞（生活）（カキク） ・あさがおとひまわりの種を植え、その変化や成長の様子に関心をもちながら世話ををする。国語「なんていおうかな」 ・地域の方や上級生に種の植え方を開く。「としょかんへいこう」 ・図鑑で育て方を調べる。道徳「あさがお」 ・どんな気持ちで植物の世話をすればよいか考える。算数「なかもづくりとかず」 ・種の数を数えたり、数のまとまりを作ったりする。 | ★＜みんなで力を合わせて＞（アイウエオ） ・かけっこや玉入れ競争、ダンスなどの運動遊びに取り組む。 ★＜走の運動遊び＞（アイウオ） ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よく遊んだり、場の安全に気を付けていたりする。 ★＜みんなのためにできること＞（朝・帰りの会・学活）（アイウオケ） ・やってみたい仕事に挑戦したり、あつらいいなと思う仕事を見付けて発表する。 | （アイウエオカクケコ）・・・「10の姿」 ★・・・子どもの交流 | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） | （アイウエオカク） |
| ひ 活 動 力 | さりたんぽまつり ひまわり油販売 | ひまわり感謝祭 | | | | ひまわりスタート集会 | | ひまわりの種袋詰め 一戸一戸ひまわり運動 | ひまわりの種植え 除草 | 除草 | かかし教室 | | | | | | | |
| 行事・FC | 就学時健診 幼保小中連携メディアコントロール週間 秋の遠足・自然観察 | ゆうぎ会 おたのしみ会 | クリスマス会 二学期終業式 | 三学期始業式 節分豆まき会 新入園児説明会 内科健診 | ひなまつり会 卒園式 おわかれ会 | 入学式 新任式・始業式 給食開始 | 1年生を迎える会 発育測定・内科検診 縦割り清掃班スタート集会 町内児童会・集団下校 | マラソン運動 地域訪問 | 新体力テスト PTA授業参観・懇談会 | 終業式 避難訓練 地域防災活動（小・中） | | | | | | | | |
| 子どもの 交流 | 稲刈り 焼きいも交流会（幼保） | 1年生生活科授業参加 ～あきまつり～ | | 雪遊び交流会（幼保） 図書館へ行ってみよう | 入学前交流会 | 下校指導 | 交通安全教室 PTA授業参観・懇談会 | 運動会 田植え（5年） | ひまわりの種植え（2年） 読み書き強調月間 | ブール授業参加 | | | | | | | | |
| 職員の 交流 他 | 小学校市教研総合研への参加 | 生活科授業協議会 | 架け橋カリキュラムの見直し | 教職員研究実践発表会 新1年生の情報交換 | 要録・個別の支援計画の送付 | | 就学前施設職員授業参観・情報交換会 | 幼保小連携推進会議 生活科授業参加 幼保小担任研修会 | 保育士体験 夏季研修会 | | | | | | | | | |
| ○☆環 境 助 の構 成イ ント | ☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それとの持ち味を發揮し、お互いによさを認め合うことができるような言葉掛けをする。 ☆ ゆうぎ会やおたのしみ会に向けて、みんなで一つの劇や合奏などを創り上げる喜びを味わうことができるようになる。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。 | ☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に動かさせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようになる。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつたりできるような環境を工夫する。 | ☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、児童の話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようになる。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり弾力的に時間割を工夫したりする。 | ☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようになる。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けて、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようになる。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 家庭との連携 | ・ゆうぎ会やおたのしみ会への取り組み、本番での頑張りを認めてもらい、自信や意欲に繋げていく。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりと一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 ・就学時健康診断を機会に、入学までに身につけたい習慣や力について話題にしていく。 | ・卒園式、入学式までの予定を示し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・子どものがんばりやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるよう励ましや言葉掛けをお願いする。 ・就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送れるように協力を願う。 | ・学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようになる。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にしたり褒めたりしてもらえるようになる。 | ・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。 ・学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。 | | | | | | | | | | | | | | |

〈資料2〉 花岡小学校区 架け橋充実期のカリキュラム全体計画（5歳10月～1年生7月）

かけ橋期に期待する子どもの姿

大館市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども
花岡小学校 ゆっくり たっぷり じっくり かかわりと学びを広げる子ども



▼保育園名又は学校名をご入力ください

花園

保育所



くわくわく どきどき やってみよう

～レッツ・チャレンジ 「自立した子どもを育てる」～

勇気・つながり・チャレンジ

| | | | | | |
|--------------------|--|---|---|---|---|
| 直接 体験の充 実 | <p>自然に触れて感動する体験を通して(★☆♡)</p> <p>収穫(さつまいも、大根葉)・焼いもパーティー 散歩(くるみ、松ぼっくり、どんぐり、どらのみ、ぎんなん、くりなど) 雨、風、嵐の白さ、気温、感触、食感</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節の収穫物を知る 自然の魅力や不思議に気付く 食べることを楽しむ 感謝の気持ちを育む | <p>季節の変化を五感で感じる</p> | <p>(★☆♡) 雪遊び・氷遊び・タオル凍らせ体験 ・探検・春探し</p> <ul style="list-style-type: none"> 発見をみんなで共有する 不思議な現象を繰り返し試す 気付きを探究心につなげる | | |
| ◇知的好 成奇心の醸 成 | <p>生き物を通しての体験活動(★☆♡)</p> <p>カナヘビ、トカゲ、サガリギン、メダカ</p> <ul style="list-style-type: none"> 命あるものを大切にする (エサ探し・ちょっと廻すと再説めてみる、冬眠準備) 絵本や図鑑で調べたり考えたりする | | | <p>行ってみよう、見てみよう(★☆♡)</p> <p>校内外を探索しながら興味・関心を広げ、何度も行ってみたり、見聞してみたいしながら、学校という新しい環境についてしていく喜びを味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校探検I (生) <ul style="list-style-type: none"> ①1年生だけ行ってみよう ②2年生と一緒に行ってみよう ・交通教室 (特活) <ul style="list-style-type: none"> ・つうがくろをあわせてみよう (生) ・がっこううだいすき (道) | <p>見つけたよ、これなあに(★☆♡)</p> <p>友だちももっと知りたいことや不思議に思ったこと、やってみたいこと等の気付きを共有し、話したり、調べたり、分かったことを自分なりの方法で表したりしながら学ぶ楽しさを味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校探査II (生) <ul style="list-style-type: none"> ①がっこうにいるひととなかよくなるろう ②みつけた! や! つたえよう ・ちいのくうえんであそぼう (生) ・がっこううだいすき (道) |
| △感性の 育成 | <p>友達といっしょにやってみよう(★☆♡)</p> <p>【劇ごっこ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージの伝え合い ・セリフを考える ・必要な道具を作る ・お話を世界を表現する <p>【運動会ごっこ・ルールのある遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達なりのルールで試してみる ・競い合ふ楽しさを味わい、繰り返し挑戦してみる | <p>【年下の子といっしょに】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊べるように工夫する ・自分の成長に気付かせようとする | <p>【制作遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤して作る ・友達の良さに気付く ・友達といっしょに作る ・卒園・お別れ会に向けて協力しながら進める | <p>自分たちでできるよ(★☆♡)</p> <p>(必要な係や当番の仕事を考え、できることは進んでやってみようとする)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動、当番活動の話合い (特活) ・継続・定期活動 (特活) ・きもちのよいせいいかつ (道) ・あかるいあいさつ (道) ・なんていおうかな (国) | <p>レッチャレンジ! 運動会編(★♡)</p> <p>〈学校行事への参考意識の芽生えを大事にし、綱一杯走ったり、踊ったり、応援したりしようとする〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よさこいソーラン、競技の練習 (体) ・保育所5歳児との合同練習 (体) (生) ・選手宣誓、応援参加 (特活) |
| △感性の 育成 | <p>言葉や想像の世界を広げよう(◆♡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護所での読み聞かせ・おはなしのもり(月1)・図書館貸し出し読み聞かせごっこ・劇ごっこ ・おはなし入りの絵本を表現する(公民館祭り給出品) ・保護者へ絵本の良さを知らせる(おすすめ絵本の紹介) | <p>文字や数に繋り返し親しみ(◆♡)</p> <p>自分で好きな絵本を見る、友達と一緒に見る、クリスマスカード作り・年賀状作り・花札かるた・カレンダー・お勉強ごっこ</p> | <ul style="list-style-type: none"> かるたの読み手、取り手の役割を楽しむ 郷土の歴史に触れ、関心をもつ 好きな絵本を友達と共有する 文字や数に興味を持ちながら楽しを味わう | <p>一線に遊ぼうよ(★☆♡)</p> <p>〈遊びを通して新しい友だとのつながりを築いたり、自分たちで相談したり工夫したりしながら、活動する楽しさを味わう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくりの運動遊び (体)・うたっておどってなかよくなるよう (音)・固定遊具で遊ぼう (体)・ねんどとなかよし (国)・みすであそぼう (生) | <p>本を通して言葉や想像の世界を広げよう(◆♡)</p> <p>〈様々な本に触れ、想像を膨らませたり友だちと面白さを共有したりしながら、文字に親しみ言葉を知っていく楽しさを味わう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなしのいいな、としょかんへいこう (国)・読み聞かせ (花矢図書館 ミラクルパラバ)・読書タイム・ことは検定 |

※特にねらうものについては ★◆◆で表